

自由時間関連財需要の平均年成長率 および寄与度に基づく分析

内山 敏典

1. 課題

わが国の経済は、バブル経済崩壊後の低経済成長を呈し、将来に起こりうる余暇すなわち自由時間の拡大傾向、少子化にともなう若年人口の減少傾向および人口構成の高齢化傾向などによって、消費需要が大きく変容する岐路にある。このような課題に対する研究として、内山敏典〔9〕は自由時間関連財需要の構成比に基づく傾向的な分析をおこなっている。この分析は、基本的に全世帯の年齢階級別、全世帯の所得階級別および勤労者世帯の所得階級別のものであり、自由時間関連財支出項目および合計の消費支出に占める割合と、自由時間関連財支出項目のその合計に占める割合（構成比）それぞれの推移に基づくものであった。この分析を通じて、以下のような結論づけをおこなった。すなわち、

(a) 全世帯平均および全世帯の年齢階級別について

自由時間関連支出合計は、24歳以下の年齢階級の微減傾向および50～54歳の年齢階級の一定傾向を除けば、すべての年齢階級および全世帯平均で微増傾向を示した。自由時間関連財支出項目および合計の消費支出に占める割合と、自由時間関連財支出項目のその合計に占める割合（構成比）それぞれの推移が、微増傾向および微増減の変動を繰り返しているすべての年齢階級階

級および全世帯平均に共通の項目および内訳項目は、とくに一般外食項目、教養娯楽項目、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧およびその他の教養娯楽用品、スポーツ項目、スポーツの内訳項目のスポーツ観覧・ゲーム代、旅行項目、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費であった。また、その他項目およびその内訳項目のこづかいは、ほとんどの年齢階級および全世帯平均で微減傾向を示したものの、60～64歳の年齢階級が一定の推移および65歳以上の年齢階級が微増傾向にあった。このような高年齢階級の傾向は注目に値する。

(b) 全世帯の所得階級別について

自由時間関連支出合計は、第Ⅴ所得階級の一定傾向を除けば、すべての所得階級で微増傾向を示した。自由時間関連財支出項目のその合計に占める割合（構成比）それぞれの推移が、微増傾向および微増減の変動を繰り返しているすべての所得階級階級に共通の項目および内訳項目は、とくに一般外食項目、教養娯楽項目、教養娯楽の内訳項目のその他の教養娯楽用品、スポーツ項目、スポーツの内訳項目のスポーツ観覧・ゲーム代、旅行項目、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費である。また、その他項目およびその内訳項目のこづかいは、第Ⅴ所得階級の一定傾向を除くと、他の所得階級では微減に近い傾向を示している。

(c) 勤労者世帯平均および勤労者世帯の所得階級別について

自由時間関連支出合計は、第Ⅰ所得階級の一定傾向を除けば、すべての所得階級で微増傾向を示した。自由時間関連財支出項目および合計の消費支出に占める割合（構成比）と、自由時間関連財支出項目のその合計に占める割合（構成比）それぞれの推移が、微増傾向および微増減の変動を繰り返しているすべての所得階級階級および勤労者世帯平均に共通の項目および内訳項目は、とくに一般外食項目、教養娯楽項目、教養娯楽の内訳項目のその他の教養娯楽用品、スポーツ項目、スポーツの内訳項目のスポーツ観覧・ゲーム代、旅行項目、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費である。また、その他項目およびその内訳項目のこづかいは、すべての所得階級で一定の推移に近い微減傾向を示している。

このような全世帯平均と全世帯の年齢階級別、全世帯の所得階級別および勤労者世帯と勤労者世帯の所得階級別の構成比に基づく傾向分析では、構成

比の推移の変動や微増傾向を示す項目および内訳項目は同様のものであった。もちろん、同様の推移を示すとはいっても、3つの階級別の変動および微増傾向に程度の差があることは言うまでもないことである。

このような分析は、傾向的な分析としては、簡単な推移の微増減などの傾向を捉えるものとして、大きな意味を持つものである。本研究の分析では、構成比の推移に基づく分析を発展させて、もっと詳細な傾向分析をおこなうために、平均年成長率および寄与度の分析をおこなう。それは、前者が分析期間（1980～1994年）で項目および内訳項目それぞれの支出について、どの位の平均的な成長率であったかを分析できるし、後者が分析期間の最初（1980年と1981年：第2次石油危機を乗り越え、外需によって経済成長していく時期）、中央（1987年と1988年：内需主導型経済成長で、バブル経済の絶頂期）および最終（1993年と1994年：バブル経済崩壊で、経済調整が必要となった時期）の各年度の時期で、3章で示す6大項目のうち、どの項目が正および負の成長率に寄与しているかや、寄与していないかを分析できるからである。

2. 分析方法

1章の課題で述べたように、将来に起こりうる自由時間の拡大傾向、少子化にともなう若年人口の減少傾向および人口構成の高齢化傾向によって、今後のわが国経済の一般的な需要構造が自由時間関連財需要と関連性を有するものと思われる。本研究の分析は、将来のその需要構造がどのような方向に進むかを、構成比の推移に基づく傾向分析でなく、平均年成長率および寄与度に基づいて、それぞれの傾向分析で明らかにする。

平均年成長率は、自由時間関連支出項目およびその内訳項目それぞれについて、分析期間の初年と最終年とでの分析をおこなう。このような分析をおこなう理由は、構成比の推移に基づく分析が、各年度ごとで微増および微減しているかを分析できても、分析期間で平均的にどの位の増減しているかの分析をおこなえないためである。そこで、平均年成長率 (i) は、次式で求めた。すなわち、

$$i = \sqrt[N]{P_t/P_0} - 1 \quad \text{—————(2-1)}$$

ここで、 P_t 、 P_0 および N は、それぞれ最終年（1994年）の項目と内訳項目、初年（1980年）の項目と内訳項目および期間数である。この平均年成長率は複利計算式でも求めることができる。

寄与度は、自由時間関連支出項目の6大項目について、最初（1980年と1981年）、中央（1987年と1988年）および最終（1993年と1994年）の各年度の分析をおこなう。このような分析をおこなう理由は、構成比の推移に基づく分析および平均年成長率で捉えることができない各自由時間関連支出項目合計の成長率が正および負の時にそれぞれどのような自由時間関連支出項目に寄与（影響）されているかの分析をおこなうためである。そこで、各自由時間関連支出項目の寄与度（ η ）は、次式で求めた。すなわち、

$$\eta = (X_{t-1} \times Y_t) / 100 \quad \text{—————(2-2)}$$

ここで、 X_{t-1} および Y_t は、それぞれ前年の各自由時間関連支出項目の構成比および今年の各自由時間関連支出項目の成長率（増減率）である。そして、この各支出項目の寄与度の総和は寄与度合計になり、この寄与度合計が自由時間関連支出項目合計の成長率に等しくなる。それゆえ、支出項目合計の成長率がどの各支出項目に寄与されているかを分析できる。

3. データ

本研究の分析で使用するデータおよび分析期間は、以下の通りである。自由関連財支出項目等に関するデータは、総務庁統計局『家計調査』の全世帯の年齢階級別および所得階級別（五分位階級別）、勤労者世帯の所得階級別（五分位階級別）である。『家計調査』には、本研究の自由時間関連支出項目は掲載されていないので、参考文献[8]の総理府編『観光白書』で定義されている分類にしたがって、家計調査の品目分類のデータを独自に集計した。すなわち、6大項費目である一般外食、耐久財、教養娯楽、スポーツ、旅行およびその他のうち、一般外食を除く、5大項目には各内訳項目がある。すなわち、耐久財は(1)ラジオ・テレビ等（ラジオ、テレビ、ステレオ、テープレ

コーダー、VTR、パソコン・ワープロ、他の教養娯楽用耐久財、教養娯楽用耐久財修理代)、(2)カメラ・同付属品および(3)ピアノ・他の楽器である。教養娯楽は(1)読書(新聞、雑誌、週刊誌、他の書籍、他の印刷物)、(2)聴視・観覧(受信料、映画・演劇等入場料、文化施設入場料、他の入場・ゲーム代)、(3)月謝類および(4)その他の教養娯楽用品(室内装飾品、玩具、フィルム、レコード、コンパクトディスク、テープ、切り花、愛がん動物・同用品、園芸品・同用品、手芸材料、他の教養娯楽用品、教養娯楽用品修理代、現像焼付代)である。スポーツは(1)スポーツ用品、(2)スポーツ用具(ボール、ゴルフ用具、他の運動用具)およびスポーツ観覧・ゲーム代、旅行は(1)宿泊料・パック旅行費、(2)交通費(電車・汽車賃、航空運賃、他の交通費)および(3)旅行かばんである。その他は(1)こづかいおよび(2)諸会費・つきあい費等(諸会費、教養娯楽賃貸料、他の教養娯楽サービスのその他、つきあい費)である。そして、一般外食を除く、5大項目の各項目を、上記のそれぞれの定義にしたがって、それぞれ集計し、各5大項目の小計を求め、一般外食を含めた6大項目の合計が自由時間関連支出合計である。

なお、自由関連支出項目等の成長率、平均年成長率および寄与度については、実質化したデータを用いているが、その際の実質化には、総務庁統計局『消費者物価指数』(基準時、1990年)を利用した。

4. 平均年成長率および寄与度に基づく傾向分析の結果

本研究は3章で述べたように、『観光白書』の分類にしたがい、『家計調査』の品目分類を独自に集計したデータから、以下の式でそれぞれ傾向分析をおこなった。

まず、(2-1)式を用い、全世帯平均と全世帯の年齢階級別、全世帯の所得階級別および勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別について、自由時間関連支出項目およびその内訳項目の平均年成長率を求めたのが、それぞれ表4-1(a)~(c)である。

つぎに、(2-2)式を用い、全世帯平均と全世帯の年齢階級別、全世帯の所得階級別および勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別について、6大

自由時間関連財需要の平均年成長率および寄与度に基づく分析

(全世帯の年齢階級別, 1990年基準, 単位:円)

表 4-1(a) 自由時間関連支出項目の平均年成長率

| 年齢階級 項目 | 全世帯平均 | | | ～24歳 | | | 25～29歳 | | | 30～34歳 | | |
|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) |
| | 1. 一般外食 | 129085.7 | 152058.8 | 1.18 | 139258.3 | 118161.5 | -1.17 | 131049.0 | 139032.7 | 0.42 | 126691.6 | 147748.8 |
| 2. 耐久財 | 32570.4 | 30896.4 | -0.38 | 71190.9 | 14911.3 | -10.57 | 22277.8 | 26427.6 | 1.23 | 30035.5 | 35329.6 | 1.17 |
| (1)ラジオ・テレビ等 | 23019.6 | 24817.9 | 0.54 | 63341.5 | 7049.5 | -14.51 | 15777.2 | 19869.3 | 1.66 | 15104.0 | 24789.0 | 3.60 |
| (2)カメラ・同付属品 | 2539.8 | 2805.8 | 0.71 | 2217.9 | 7850.6 | 9.45 | 2418.6 | 5029.9 | 5.37 | 2778.5 | 6312.8 | 6.04 |
| (3)ピアノ・他の楽器 | 7011.0 | 3272.6 | -5.30 | 5631.6 | 11.2 | -35.87 | 4082.0 | 1528.5 | -6.78 | 12153.0 | 4227.8 | -7.26 |
| 3. 教養娯楽 | 162044.1 | 176653.6 | 0.62 | 103493.3 | 118123.3 | 0.95 | 116348.8 | 154150.3 | 2.03 | 148839.7 | 213708.7 | 2.62 |
| (1)読書 | 51798.0 | 25562.1 | -0.49 | 39798.0 | 37661.1 | -0.39 | 45871.5 | 48335.2 | 0.37 | 53632.8 | 55166.2 | 0.20 |
| (2)聴視・観覧 | 15574.1 | 29377.2 | 4.64 | 12985.3 | 21764.7 | 3.76 | 15045.3 | 28309.1 | 4.62 | 15834.8 | 35730.2 | 5.99 |
| (3)月謝類 | 43073.4 | 49421.1 | 0.99 | 12495.7 | 12866.5 | 0.21 | 11794.4 | 19112.0 | 3.51 | 30419.8 | 52848.7 | 4.02 |
| (4)その他の教養娯楽用品 | 51598.5 | 72293.2 | 2.44 | 38214.2 | 45831.0 | 1.31 | 43637.7 | 58394.0 | 2.10 | 48952.3 | 69963.6 | 2.58 |
| 4. スポーツ | 20193.4 | 33199.8 | 3.62 | 12342.7 | 14405.2 | 1.11 | 12592.4 | 20969.2 | 3.71 | 16370.9 | 35528.5 | 5.69 |
| (1)スポーツ用品 | 12097.9 | 16714.3 | 2.34 | 4140.8 | 5831.9 | 2.48 | 7548.3 | 9690.0 | 1.80 | 9375.8 | 18122.3 | 4.82 |
| (2)スポーツ用具 | 4358.6 | 5340.8 | 1.46 | 5854.3 | 578.9 | -15.23 | 3017.1 | 4690.0 | 3.20 | 3952.3 | 7881.4 | 5.05 |
| (3)スポーツ観覧・ゲーム代 | 3736.8 | 11144.7 | 8.12 | 2347.6 | 7994.4 | 9.15 | 2026.9 | 6589.2 | 8.79 | 3042.8 | 9524.7 | 8.49 |
| 5. 旅行 | 87331.7 | 138161.5 | 3.33 | 73198.3 | 67581.7 | -0.57 | 55544.7 | 90559.3 | 3.55 | 58607.1 | 130034.5 | 5.86 |
| (1)宿泊料・パック旅行費 | 55165.2 | 88952.4 | 3.47 | 25586.3 | 37157.8 | 2.70 | 31151.8 | 49468.7 | 3.36 | 31142.0 | 82507.0 | 7.21 |
| (2)交通費 | 31339.0 | 48120.4 | 3.11 | 47047.7 | 30405.2 | -3.07 | 24297.4 | 40739.5 | 3.76 | 26855.6 | 46899.2 | 4.06 |
| (3)旅行かばん | 827.4 | 1088.7 | 1.98 | 564.3 | 18.7 | -21.60 | 425.9 | 351.1 | -1.37 | 609.5 | 628.4 | 0.22 |
| 6. その他 | 317597.3 | 337787.1 | 0.44 | 252771.1 | 249778.7 | -0.09 | 294074.7 | 276435.1 | -0.44 | 323665.9 | 300909.4 | -0.52 |
| (1)こづかい | 308472.5 | 305186.7 | -0.08 | 230309.7 | 226760.0 | -0.11 | 271151.8 | 249198.9 | -0.60 | 299215.4 | 268236.2 | -0.78 |
| (2)諸会費・つきあい費等 | 9124.8 | 32600.4 | 9.52 | 22461.4 | 23018.7 | 0.18 | 22922.9 | 27236.2 | 1.24 | 24450.4 | 32673.2 | 2.09 |
| 自由時間関連支出合計 | 748822.5 | 868757.2 | 1.07 | 652254.6 | 582961.7 | -0.80 | 631887.4 | 707574.2 | 0.81 | 704210.5 | 863259.6 | 1.47 |
| 消費支出 | 3386550.8 | 3740509.9 | 0.71 | 2704689.1 | 2547483.7 | -0.43 | 2728452.9 | 2871804.9 | 0.37 | 3000941.2 | 3354973.9 | 0.80 |

計算式：(2-1)式

(注) 各表の各項目および内訳項目の金額データは、総務庁統計局『消費者物価指数』で実質化した。

(表4-1(a)のつづき)

| 年齢階級 項目 | 35～39歳 | | | 40～44歳 | | | 45～49歳 | | | 50～54歳 | | |
|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) |
| | 1. 一般外食 | 13110.2 | 152566.8 | 1.09 | 138782.1 | 162057.0 | 1.11 | 136581.4 | 168663.9 | 1.52 | 144547.1 | 178338.9 |
| 2. 耐久財 | 35578.9 | 41167.1 | 1.05 | 42282.7 | 35955.2 | -1.15 | 33692.8 | 43028.0 | 1.76 | 38007.3 | 29366.0 | -1.83 |
| (1)ラジオ・テレビ等 | 25254.6 | 25592.0 | 0.09 | 29350.1 | 29782.4 | 0.10 | 25509.2 | 35512.6 | 2.39 | 27979.2 | 26113.0 | -0.49 |
| (2)カメラ・同付属品 | 2955.9 | 4391.2 | 2.87 | 2758.9 | 1931.8 | -2.51 | 2733.2 | 2045.8 | -2.05 | 2904.5 | 2417.4 | -1.30 |
| (3)ピアノ・他の楽器 | 7368.4 | 11183.9 | 3.03 | 10173.8 | 4240.9 | -6.06 | 5450.4 | 5469.7 | 0.03 | 7123.6 | 835.7 | -14.19 |
| 3. 教養娯楽 | 195760.1 | 250547.2 | 1.78 | 184811.5 | 254996.3 | 2.33 | 169063.6 | 219113.0 | 1.87 | 165638.9 | 191686.3 | 1.05 |
| (1)読書 | 56959.6 | 56582.6 | -0.05 | 55504.3 | 57130.7 | 0.21 | 53903.3 | 54439.8 | 0.07 | 54603.4 | 54140.1 | -0.06 |
| (2)聴視・観覧 | 17110.2 | 39510.7 | 6.16 | 16784.6 | 33675.1 | 5.10 | 15709.9 | 26899.2 | 3.92 | 14669.5 | 25500.5 | 4.03 |
| (3)月謝類 | 65736.8 | 85061.6 | 1.86 | 65997.6 | 93398.7 | 2.51 | 54317.0 | 66089.6 | 1.41 | 38740.5 | 36620.9 | -0.40 |
| (4)その他の教養娯楽用品 | 55953.5 | 69392.2 | 1.55 | 46525.1 | 70791.8 | 3.04 | 45133.4 | 71684.4 | 3.36 | 57625.5 | 75424.8 | 1.94 |
| 4. スポーツ | 25280.3 | 48578.0 | 4.78 | 33068.5 | 50194.2 | 3.03 | 27547.1 | 40795.5 | 2.84 | 17478.6 | 32001.9 | 4.41 |
| (1)スポーツ用品 | 15405.1 | 28573.3 | 4.51 | 20712.4 | 31843.1 | 3.12 | 18325.6 | 24207.3 | 2.01 | 9026.9 | 12481.8 | 2.34 |
| (2)スポーツ用具 | 6129.7 | 8660.1 | 2.50 | 7039.2 | 7856.2 | 0.79 | 4876.4 | 5554.6 | 0.93 | 3460.2 | 5215.7 | 2.97 |
| (3)スポーツ観覧・ゲーム代 | 3745.4 | 11344.5 | 8.24 | 5317.0 | 10494.9 | 4.98 | 4345.2 | 11033.6 | 6.88 | 4991.4 | 14304.4 | 7.81 |
| 5. 旅行 | 73105.3 | 110378.2 | 2.99 | 91625.5 | 127981.3 | 2.42 | 96929.0 | 121894.5 | 1.65 | 115176.3 | 150078.4 | 1.91 |
| (1)宿泊料・バック旅行費 | 44916.8 | 65562.1 | 2.74 | 58798.0 | 79550.9 | 2.18 | 61184.8 | 70281.0 | 0.99 | 77708.7 | 95466.9 | 1.48 |
| (2)交通費 | 27377.0 | 44118.6 | 3.47 | 31654.8 | 47239.0 | 2.90 | 34920.4 | 50643.3 | 2.69 | 36521.4 | 53063.5 | 2.70 |
| (3)旅行かばん | 811.5 | 697.5 | -1.08 | 1172.6 | 1191.4 | 0.11 | 823.7 | 970.1 | 1.18 | 946.1 | 1548.1 | 3.58 |
| 6. その他 | 352793.1 | 329149.4 | -0.49 | 353144.4 | 387881.4 | 0.67 | 409060.0 | 429920.6 | 0.36 | 475750.3 | 472483.7 | -0.05 |
| (1)こづかい | 321291.3 | 291047.6 | -0.70 | 320244.8 | 351540.6 | 0.67 | 376605.9 | 393964.5 | 0.32 | 437208.1 | 437536.0 | 0.01 |
| (2)年会費・つきあい費等 | 31501.8 | 38101.8 | 1.37 | 32899.6 | 36340.8 | 0.71 | 32454.1 | 35956.1 | 0.73 | 38542.2 | 34947.7 | -0.70 |
| 自由時間関連支出合計 | 813627.9 | 932386.6 | 0.98 | 843714.8 | 1019065.4 | 1.36 | 872873.9 | 1023415.5 | 1.14 | 956598.5 | 1053955.2 | 0.69 |
| 消費支出 | 3318514.1 | 3522028.1 | 0.43 | 3559101.6 | 4006292.3 | 0.85 | 3918509.2 | 4349234.4 | 0.75 | 4119314.6 | 4466799.3 | 0.58 |

(表 4-1 (a) のつづき)

| 年齢階級 項目 | 55～59歳 | | | 60～64歳 | | | 65歳～ | | |
|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) |
| | 1. 一般外食 | 127280.3 | 166071.0 | 1.92 | 105259.5 | 145568.6 | 2.34 | 93287.6 | 106042.0 |
| 2. 耐久財 | 29656.1 | 23083.1 | -1.77 | 17345.2 | 22550.9 | 1.89 | 20417.4 | 19933.7 | -0.17 |
| (1)ラジオ・テレビ等 | 24217.9 | 20778.7 | -1.09 | 15335.4 | 17949.6 | 1.13 | 14896.0 | 18395.0 | 1.52 |
| (2)カメラ・同付属品 | 2380.7 | 2060.7 | -1.03 | 1599.8 | 3863.7 | 6.50 | 1155.4 | 734.8 | -3.18 |
| (3)ピアノ・他の楽器 | 3057.5 | 243.7 | -16.53 | 410.0 | 737.6 | 4.28 | 4366.0 | 803.9 | -11.38 |
| 3. 教養娯楽 | 150083.2 | 185055.1 | 1.51 | 135332.9 | 181411.8 | 2.12 | 127314.6 | 164304.0 | 1.84 |
| (1)読書 | 44408.8 | 53114.8 | 1.29 | 43903.3 | 50875.8 | 1.06 | 41986.5 | 50051.4 | 1.26 |
| (2)聴視・観覧 | 13930.2 | 26378.2 | 4.67 | 13576.5 | 27865.5 | 5.27 | 14219.1 | 24013.1 | 3.81 |
| (3)月謝類 | 29959.6 | 25508.9 | -1.14 | 16761.3 | 22854.3 | 2.24 | 20233.8 | 20954.2 | 0.25 |
| (4)その他の教養娯楽用品 | 61784.6 | 80053.2 | 1.87 | 61091.8 | 79816.1 | 1.93 | 50875.2 | 69284.8 | 2.23 |
| 4. スポーツ | 8833.5 | 25007.5 | 7.72 | 8811.5 | 21107.4 | 6.44 | 8842.1 | 17143.8 | 4.84 |
| (1)スポーツ用品 | 5006.1 | 7872.1 | 3.29 | 3567.9 | 6932.8 | 4.86 | 4635.3 | 5409.0 | 1.11 |
| (2)スポーツ用具 | 1662.2 | 3486.5 | 5.43 | 2275.4 | 3450.0 | 3.02 | 1543.5 | 2176.5 | 2.49 |
| (3)スポーツ観覧・ゲーム代 | 2165.2 | 13648.9 | 14.05 | 2968.2 | 10724.6 | 9.61 | 2663.4 | 9558.4 | 9.56 |
| 5. 旅行 | 117827.4 | 170023.3 | 2.65 | 86362.3 | 176085.0 | 5.22 | 101701.3 | 142823.5 | 2.46 |
| (1)宿泊料・パック旅行費 | 79014.7 | 111759.1 | 2.51 | 54437.0 | 126544.4 | 6.21 | 69184.8 | 99845.9 | 2.65 |
| (2)交通費 | 37795.6 | 56260.5 | 2.88 | 31106.5 | 48722.7 | 3.26 | 31919.2 | 41992.5 | 1.98 |
| (3)旅行かばん | 1017.1 | 2003.7 | 4.96 | 818.8 | 817.9 | -0.01 | 597.3 | 985.1 | 3.64 |
| 6. その他 | 337637.7 | 411832.9 | 1.43 | 207263.2 | 246242.8 | 1.24 | 116040.4 | 144393.1 | 1.57 |
| (1)こづかい | 314199.5 | 376420.2 | 1.30 | 188965.7 | 219850.6 | 1.09 | 96943.7 | 120543.4 | 1.57 |
| (2)諸会費・つきあい費等 | 23438.2 | 35412.7 | 2.99 | 18297.4 | 26392.2 | 2.65 | 19096.7 | 23849.7 | 1.60 |
| 自由時間関連支出合計 | 771318.2 | 981072.8 | 1.73 | 560374.5 | 792966.4 | 2.51 | 467603.4 | 594639.6 | 1.73 |
| 消費支出 | 3551477.4 | 4014935.6 | 0.88 | 2951471.2 | 3520395.0 | 1.27 | 2679369.6 | 2896671.4 | 0.56 |

表 4-1 (b) 自由時間関連支出項目の平均年成長率 (全世界の所得階級別)

| 所得階級 項目 | 第 I 所得階級 | | | 第 II 所得階級 | | | 第 III 所得階級 | | | 第 IV 所得階級 | | | 第 V 所得階級 | | |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) |
| 1. 一般外食 | 85570.4 | 84292.3 | 0.11 | 105177.5 | 120654.5 | 0.99 | 126951.0 | 149314.7 | 1.17 | 138990.2 | 171360.4 | 1.51 | 188740.5 | 234673.2 | 1.57 |
| 2. 耐久財 | 14558.1 | 14453.8 | -0.05 | 23789.5 | 23147.5 | -0.20 | 34445.5 | 27718.0 | 1.54 | 41487.1 | 39711.5 | -0.31 | 48569.2 | 48300.7 | -0.04 |
| (1)ラジオ・テレビ 等 | 11554.5 | 12039.2 | 0.29 | 18064.9 | 18172.7 | 0.04 | 19864.1 | 22660.1 | 0.95 | 29232.6 | 30929.0 | 0.40 | 36384.3 | 39948.6 | 0.67 |
| (2)カメラ・同付属 品 | 1172.6 | 1668.5 | 2.55 | 1676.9 | 2342.7 | 2.42 | 2237.5 | 2634.9 | 1.17 | 3433.3 | 3244.6 | -0.40 | 4175.0 | 3328.7 | -1.61 |
| (3)ピアノ・他の楽 器 | 1831.1 | 746.0 | -6.21 | 4047.7 | 2632.1 | -3.03 | 12343.9 | 2423.0 | -10.98 | 8821.3 | 5537.8 | -3.27 | 8009.8 | 5023.3 | -3.28 |
| 3. 教養娯楽 | 100698.9 | 128450.0 | 1.75 | 133488.4 | 174865.5 | 1.95 | 160095.5 | 207737.6 | 1.88 | 180468.8 | 233183.9 | 1.85 | 235487.1 | 279081.2 | 1.22 |
| (1)読書 | 37653.6 | 42225.0 | 0.82 | 46559.4 | 48823.5 | 0.34 | 51903.3 | 52029.9 | 0.02 | 54762.5 | 57648.0 | 0.37 | 68116.3 | 67138.2 | -0.10 |
| (2)聴視・観覧 | 12285.2 | 19922.5 | 3.51 | 14659.7 | 27312.8 | 4.54 | 15755.2 | 29880.5 | 4.68 | 15993.9 | 32273.6 | 5.14 | 19177.5 | 37496.7 | 4.91 |
| (3)月謝類 | 17848.2 | 19779.6 | 0.74 | 29905.8 | 36352.0 | 1.40 | 43232.6 | 58127.0 | 2.14 | 56554.5 | 63368.8 | 0.82 | 67823.7 | 69475.3 | 0.17 |
| (4)その他の教養娯 楽用品 | 32911.9 | 46522.9 | 2.50 | 42363.5 | 62377.2 | 2.80 | 49204.4 | 67700.3 | 2.31 | 53157.9 | 79893.6 | 2.95 | 80369.6 | 104971.1 | 1.93 |
| 4. スポーツ | 10039.2 | 12529.4 | 1.60 | 15894.7 | 25006.5 | 3.29 | 20121.2 | 33523.9 | 3.71 | 21444.3 | 38365.1 | 4.24 | 33470.0 | 56578.9 | 3.82 |
| (1)スポーツ用品 | 6643.8 | 6882.4 | 0.25 | 10649.9 | 13989.7 | 1.97 | 12276.6 | 19015.9 | 3.17 | 13862.9 | 21538.7 | 3.20 | 17058.8 | 22145.7 | 1.88 |
| (2)スポーツ用具 | 2084.5 | 2409.9 | 1.04 | 3275.4 | 3933.7 | 1.32 | 4592.4 | 5311.9 | 1.05 | 4067.3 | 6197.9 | 3.05 | 7776.0 | 8854.3 | 0.93 |
| (3)スポーツ観覧・ ゲーム代 | 1310.9 | 3237.2 | 6.67 | 1969.4 | 7083.1 | 9.57 | 3252.1 | 9196.1 | 7.71 | 3514.1 | 10628.4 | 8.23 | 8635.3 | 25578.9 | 8.07 |
| 5. 旅行 | 46993.9 | 75050.4 | 3.40 | 56373.3 | 99485.5 | 4.14 | 73153.0 | 111768.4 | 3.07 | 96217.9 | 148583.6 | 3.15 | 163916.8 | 255919.7 | 3.23 |
| (1)宿泊料・バック 旅行費 | 25725.8 | 46569.6 | 4.33 | 32395.3 | 63352.9 | 4.91 | 42941.2 | 66656.4 | 3.19 | 61254.6 | 92581.7 | 2.99 | 113506.7 | 175601.3 | 3.17 |
| (2)交通費 | 20818.8 | 28011.2 | 2.14 | 23610.8 | 35553.7 | 2.97 | 29499.4 | 44409.9 | 2.97 | 34007.3 | 54723.6 | 3.46 | 48756.4 | 77902.9 | 3.40 |
| (3)旅行かばん | 449.2 | 469.7 | 0.32 | 367.2 | 587.9 | 3.31 | 712.4 | 702.1 | 0.10 | 955.9 | 1278.2 | 2.10 | 1653.6 | 2415.5 | 2.74 |
| 6. その他 | 120145.7 | 123959.9 | 0.22 | 231957.2 | 233760.0 | 0.06 | 331740.5 | 324057.0 | -0.17 | 421252.1 | 440675.1 | 0.32 | 580553.2 | 566482.7 | -0.18 |
| (1)こづかい | 109279.1 | 108127.9 | 0.08 | 214804.2 | 211052.3 | -0.13 | 306094.2 | 292999.1 | -0.31 | 388810.3 | 402323.1 | 0.24 | 523377.0 | 511432.3 | -0.16 |
| (2)諸会費・つきあ い費等 | 10866.6 | 15831.9 | 2.72 | 17153.0 | 22707.8 | 2.02 | 25646.3 | 31057.9 | 1.38 | 32441.9 | 38352.0 | 1.20 | 57176.3 | 55050.4 | -0.27 |
| 自由時間関連支出 合計 | 378006.1 | 438735.8 | 1.07 | 566680.5 | 676919.7 | 1.28 | 746506.7 | 854119.6 | 0.97 | 899860.5 | 1071879.6 | 1.26 | 1250736.8 | 1441036.4 | 1.02 |
| 消費支出 | 2221553.2 | 2391532.3 | 0.53 | 2786281.5 | 3039583.6 | 0.62 | 3246996.3 | 3570494.9 | 0.68 | 3765953.5 | 4272640.6 | 0.91 | 4911969.4 | 5428296.1 | 0.72 |

(勤労者世帯の所得階級別)

表 4-1(c) 自由時間関連支出項目の平均年成長率

| 所得階級 項目 | 勤労者世帯平均 | | | 第 I 所得階級 | | | 第 II 所得階級 | | | 第 III 所得階級 | | |
|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) |
| 1. 一般外食 | 126875.2 | 155493.0 | 1.46 | 89242.4 | 101134.5 | 0.90 | 110367.2 | 132604.1 | 1.32 | 125648.7 | 155855.3 | 1.55 |
| 2. 耐久財 | 35434.5 | 36388.4 | 0.19 | 18543.5 | 19759.1 | 0.45 | 24375.8 | 30291.3 | 1.56 | 40932.7 | 32295.1 | -1.68 |
| (1)ラジオ・テレビ等 | 24869.0 | 28470.6 | 0.97 | 15252.1 | 16051.4 | 0.37 | 17866.6 | 22953.3 | 1.81 | 22661.0 | 24874.0 | 0.67 |
| (2)カメラ・同付属品 | 2756.4 | 3515.4 | 1.75 | 1299.9 | 3088.7 | 6.38 | 1838.4 | 3179.3 | 3.99 | 2504.3 | 3300.7 | 1.99 |
| (3)ピアノ・他の楽器 | 7809.1 | 4402.4 | -4.01 | 1991.4 | 619.0 | -8.01 | 4670.7 | 4158.7 | -0.83 | 15767.4 | 4120.4 | -9.14 |
| 3. 教養娯楽 | 166293.8 | 217038.3 | 1.92 | 104658.5 | 143840.3 | 2.30 | 136019.6 | 191561.2 | 2.48 | 164899.6 | 220985.1 | 2.11 |
| (1)読書 | 55238.7 | 56318.4 | 0.14 | 41840.9 | 44633.1 | 0.46 | 49246.0 | 50980.4 | 0.25 | 54697.7 | 55182.1 | 0.06 |
| (2)聴視・観覧 | 15938.8 | 31608.8 | 5.01 | 13086.9 | 23686.3 | 4.33 | 15057.5 | 31534.1 | 5.42 | 15888.6 | 31177.4 | 4.93 |
| (3)月謝類 | 45199.5 | 58638.7 | 1.88 | 19291.3 | 27129.8 | 2.47 | 31720.9 | 47676.0 | 2.95 | 49079.6 | 70274.5 | 2.60 |
| (4)その他の教養娯楽用品 | 49916.8 | 70472.5 | 2.49 | 30439.4 | 48391.2 | 3.37 | 39995.1 | 61370.7 | 3.11 | 45233.8 | 64351.1 | 2.55 |
| 4. スポーツ | 20631.6 | 35519.1 | 3.96 | 11871.5 | 19133.5 | 3.47 | 16634.0 | 29605.0 | 4.20 | 21183.6 | 35599.4 | 3.78 |
| (1)スポーツ用品 | 12691.6 | 19550.0 | 3.13 | 7947.4 | 12595.7 | 3.34 | 10698.9 | 17912.2 | 3.75 | 13498.2 | 21494.9 | 3.38 |
| (2)スポーツ用具 | 4525.1 | 5988.8 | 2.02 | 2667.1 | 2631.2 | -0.10 | 3629.1 | 5857.1 | 3.48 | 4855.6 | 5384.7 | 0.74 |
| (3)スポーツ観・ゲーム代覧 | 3414.9 | 9980.4 | 7.96 | 1257.0 | 3906.6 | 8.44 | 2306.0 | 5835.7 | 6.86 | 2829.9 | 8719.9 | 8.37 |
| 5. 旅行 | 83216.6 | 131745.1 | 3.34 | 44083.2 | 68859.9 | 3.24 | 56896.0 | 90271.7 | 3.35 | 71274.2 | 117021.5 | 3.61 |
| (1)宿泊料・バック旅行費 | 50274.2 | 79970.1 | 3.37 | 23219.1 | 40631.2 | 4.08 | 32175.0 | 50846.9 | 3.32 | 41640.1 | 68510.7 | 3.62 |
| (2)交通費 | 32161.6 | 50747.9 | 3.31 | 20462.7 | 27983.2 | 2.26 | 24402.7 | 38920.6 | 3.39 | 28836.0 | 47800.2 | 3.68 |
| (3)旅行かばん | 780.9 | 1027.1 | 1.98 | 401.5 | 245.6 | -3.45 | 318.2 | 504.2 | 3.34 | 1165.2 | 710.6 | -3.47 |
| 6. その他 | 436640.1 | 438129.8 | 0.02 | 209692.8 | 216395.0 | 0.22 | 302980.4 | 321176.5 | 0.42 | 411793.1 | 405053.2 | -0.12 |
| (1)こづかい | 402637.7 | 400199.8 | -0.04 | 195241.1 | 197695.6 | 0.09 | 282039.2 | 292551.8 | 0.26 | 381747.9 | 369536.0 | -0.23 |
| (2)諸会費・つきあい費等 | 34002.4 | 37930.0 | 0.78 | 14451.7 | 18699.3 | 1.86 | 20941.2 | 28624.7 | 2.26 | 30045.3 | 35517.3 | 1.20 |
| 自由時間関連支出合計 | 869091.8 | 1014313.7 | 1.11 | 478091.8 | 569122.3 | 1.25 | 647272.9 | 795509.8 | 1.48 | 835731.9 | 966809.5 | 1.05 |
| 消費支出 | 3497560.6 | 3956478.1 | 0.88 | 2388783.4 | 2656362.3 | 0.76 | 2923777.2 | 3261824.5 | 0.78 | 3342077.1 | 3801714.4 | 0.92 |

(表 4-1 (c) のつづき)

| 所得階級 項目 | 第IV所得階級 | | | 第V所得階級 | | |
|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) | 1980年の 項目別支出 (実質) | 1994年の 項目別支出 (実質) | 平均年 成長率 (%) |
| | | | | | | |
| 1. 一般外食 | 137870.3 | 171930.9 | 1.59 | 171249.7 | 215940.2 | 1.67 |
| 2. 耐久財 | 41394.1 | 43868.3 | 0.42 | 51919.2 | 55725.5 | 0.51 |
| (1)ラジオ・テレビ等 | 29131.0 | 33504.2 | 1.00 | 39432.1 | 44974.8 | 0.94 |
| (2)カメラ・同付属品 | 3849.4 | 3887.0 | 0.07 | 4288.9 | 4118.6 | -0.29 |
| (3)ピアノ・他の楽器 | 8413.7 | 6477.1 | -1.85 | 8198.3 | 6632.1 | -1.50 |
| 3. 教養娯楽 | 182539.8 | 241367.9 | 2.02 | 231789.5 | 287437.0 | 1.55 |
| (1)読書 | 58224.0 | 59444.4 | 0.15 | 72189.7 | 71349.2 | -0.08 |
| (2)聴視・観覧 | 16621.8 | 33046.7 | 5.03 | 19037.9 | 38598.5 | 5.18 |
| (3)月謝類 | 58276.6 | 69939.3 | 1.31 | 67629.1 | 78173.7 | 1.04 |
| (4)その他の教養娯楽用品 | 49417.4 | 78937.4 | 3.40 | 72932.7 | 99315.6 | 2.23 |
| 4. スポーツ | 22559.4 | 40773.1 | 4.32 | 30907.0 | 52482.7 | 3.85 |
| (1)スポーツ用品 | 14492.0 | 22707.8 | 3.26 | 16818.8 | 23040.1 | 2.27 |
| (2)スポーツ用具 | 4317.0 | 6862.7 | 3.37 | 7157.9 | 9204.5 | 1.81 |
| (3)スポーツ観・ゲーム代覧 | 3750.3 | 11202.6 | 8.13 | 6930.2 | 20238.1 | 7.96 |
| 5. 旅行 | 93779.7 | 144732.0 | 3.15 | 150047.7 | 237837.5 | 3.34 |
| (1)宿泊料・バック旅行費 | 56967.0 | 85378.2 | 2.93 | 97370.9 | 154481.8 | 3.35 |
| (2)交通費 | 35982.9 | 58022.4 | 3.47 | 51121.2 | 81013.1 | 3.34 |
| (3)旅行かばん | 829.9 | 1331.5 | 3.43 | 1555.7 | 2342.7 | 2.97 |
| 6. その他 | 501255.8 | 529882.4 | 0.40 | 757481.0 | 718140.1 | -0.38 |
| (1)こづかい | 462882.5 | 487264.2 | 0.37 | 691277.8 | 653948.7 | -0.40 |
| (2)諸会費・つきあい費等 | 38373.3 | 42618.1 | 0.75 | 66203.2 | 64191.4 | -0.22 |
| 自由時間関連支出合計 | 979399.0 | 1172554.6 | 1.29 | 1393394.1 | 1567563.1 | 0.84 |
| 消費支出 | 3854539.8 | 4466350.2 | 1.06 | 4978624.2 | 5596140.2 | 0.84 |

自由時間関連財需要の平均年成長率および寄与度に基づく分析

表4-2(a) 自由時間関連支出項目の寄与度

(全世界の年齢階級別, 単位: 実額は円, 構成比・成長率・寄与度は%)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 |
|-----------|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 全世界平均 | 1980年(実質) | 748822.5 | 129085.7 | 32570.4 | 162044.1 | 20193.4 | 87331.7 | 317597.3 |
| | 1981年(実質) | 737199.8 | 126213.8 | 30792.1 | 161634.3 | 20797.9 | 89156.5 | 308605.1 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 17.24 | 4.35 | 21.64 | 2.70 | 11.66 | 42.41 |
| | 1981年成長率 | -1.55 | -2.22 | -5.46 | -0.25 | 2.99 | 2.09 | -2.83 |
| | 寄与度 | -1.55 | -0.38 | -0.24 | -0.05 | 0.08 | 0.24 | -1.20 |
| | 1987年(実質) | 842963.9 | 145657.1 | 40354.6 | 173077.5 | 26470.3 | 110938.4 | 346466.0 |
| | 1988年(実質) | 896407.8 | 152098.0 | 43536.4 | 179989.5 | 28943.1 | 124358.3 | 367482.6 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 17.28 | 4.79 | 20.53 | 3.14 | 13.16 | 41.10 |
| | 1988年成長率 | 6.34 | 4.42 | 7.88 | 3.99 | 9.34 | 12.10 | 6.07 |
| | 寄与度 | 6.34 | 0.76 | 0.38 | 0.82 | 0.29 | 1.59 | 2.49 |
| | 1993年(実質) | 914247.2 | 153556.4 | 32398.5 | 205067.7 | 36253.8 | 138930.5 | 348040.4 |
| | 1994年(実質) | 868757.2 | 152058.8 | 30896.4 | 176653.6 | 33199.8 | 138161.5 | 337787.1 |
| 1993年構成比 | 100.0 | 16.80 | 3.54 | 22.43 | 3.97 | 15.20 | 38.07 | |
| 1994年成長率 | -4.98 | -0.98 | -4.64 | -13.86 | -8.42 | -0.55 | -2.95 | |
| 寄与度 | -4.98 | -0.16 | -0.16 | -3.11 | -0.33 | -0.08 | -1.12 | |
| 24歳 | 1980年(実質) | 652254.6 | 139258.3 | 71190.9 | 103493.3 | 12342.7 | 73198.3 | 252771.1 |
| | 1981年(実質) | 554619.2 | 137956.8 | 16697.4 | 105299.1 | 15237.1 | 61078.3 | 218350.5 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 21.35 | 10.91 | 15.87 | 1.89 | 11.22 | 38.75 |
| | 1981年成長率 | -14.97 | -0.93 | -76.55 | 1.74 | 23.45 | -16.56 | -13.64 |
| | 寄与度 | -14.97 | -0.20 | -8.35 | 0.28 | 0.44 | -1.86 | -5.28 |
| | 1987年(実質) | 570086.0 | 136669.9 | 44893.8 | 100397.0 | 22490.4 | 53872.6 | 211762.2 |
| | 1988年(実質) | 624817.7 | 141908.3 | 24379.3 | 113674.4 | 15558.5 | 85893.6 | 243403.6 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 23.97 | 7.87 | 17.61 | 3.95 | 9.45 | 37.15 |
| | 1988年成長率 | 9.60 | 3.83 | -45.70 | 13.22 | -30.82 | 59.44 | 14.94 |
| | 寄与度 | 9.60 | 0.92 | -3.60 | 2.33 | -1.22 | 5.62 | 5.55 |
| | 1993年(実質) | 604679.5 | 135408.8 | 13983.1 | 125711.5 | 22945.5 | 56235.0 | 250395.7 |
| | 1994年(実質) | 582961.7 | 118161.5 | 14911.3 | 118123.3 | 14405.2 | 67581.7 | 249778.7 |
| 1993年構成比 | 100.0 | 22.39 | 2.31 | 20.79 | 3.79 | 9.30 | 41.41 | |
| 1994年成長率 | -3.59 | -12.74 | 6.64 | -6.04 | -37.22 | 20.18 | -0.25 | |
| 寄与度 | -3.59 | -2.85 | 0.15 | -1.25 | -1.41 | 1.88 | -0.10 | |
| 25歳 | 1980年(実質) | 631887.4 | 131049.0 | 22277.8 | 116348.8 | 12592.4 | 55544.7 | 294074.7 |
| | 1981年(実質) | 658182.2 | 126493.0 | 23302.6 | 125876.2 | 16762.9 | 58273.4 | 307474.3 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 20.74 | 3.53 | 18.41 | 1.99 | 8.79 | 46.54 |
| | 1981年成長率 | 4.16 | -3.48 | 4.60 | 8.19 | 33.12 | 4.91 | 4.56 |
| | 寄与度 | 4.16 | -0.72 | 0.16 | 1.51 | 0.66 | 0.43 | 2.12 |
| | 1987年(実質) | 738497.9 | 152147.6 | 37518.0 | 133348.2 | 23810.0 | 84952.2 | 306721.9 |
| | 1988年(実質) | 760926.2 | 142719.7 | 43363.5 | 128603.8 | 21192.8 | 97976.8 | 327069.5 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 20.60 | 5.08 | 18.06 | 3.22 | 11.50 | 41.53 |
| | 1988年成長率 | 3.04 | -6.20 | 15.58 | -3.56 | -10.99 | 15.33 | 6.63 |
| | 寄与度 | 3.04 | -1.28 | 0.79 | -0.64 | -0.35 | 1.76 | 2.76 |
| | 1993年(実質) | 740383.5 | 147482.1 | 27385.3 | 162122.2 | 28608.1 | 90255.6 | 284530.1 |
| | 1994年(実質) | 707574.2 | 139032.7 | 26427.6 | 154150.3 | 20969.2 | 90559.3 | 276435.1 |
| 1993年構成比 | 100.0 | 19.92 | 3.70 | 21.90 | 3.86 | 12.19 | 38.43 | |
| 1994年成長率 | -4.43 | -5.73 | -3.50 | -4.92 | -26.70 | 0.34 | -2.85 | |
| 寄与度 | -4.43 | -1.14 | -0.13 | -1.08 | -1.03 | 0.04 | -1.09 | |
| 30歳 | 1980年(実質) | 704210.5 | 126691.6 | 30035.5 | 148839.7 | 16370.9 | 58607.1 | 323665.9 |
| | 1981年(実質) | 700245.7 | 127065.4 | 25372.7 | 146544.4 | 19008.2 | 60528.0 | 321736.0 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 17.99 | 4.27 | 21.14 | 2.32 | 8.32 | 45.96 |
| | 1981年成長率 | -0.56 | 0.30 | -15.52 | -1.54 | 16.11 | 3.28 | -0.60 |
| | 寄与度 | -0.56 | 0.05 | -0.66 | -0.33 | 0.37 | 0.27 | -0.27 |
| | 1987年(実質) | 791339.7 | 138208.1 | 43243.1 | 163880.0 | 23028.7 | 90839.7 | 332140.1 |
| | 1988年(実質) | 831031.6 | 142381.5 | 39409.9 | 175696.5 | 29751.3 | 92506.8 | 351285.6 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 17.47 | 5.46 | 20.71 | 2.91 | 11.48 | 41.97 |
| | 1988年成長率 | 5.02 | 3.02 | -8.86 | 7.21 | 29.19 | 1.84 | 5.76 |
| | 寄与度 | 5.02 | 0.53 | -0.48 | 1.49 | 0.85 | 0.21 | 2.42 |
| | 1993年(実質) | 828727.4 | 146501.9 | 37201.1 | 203689.8 | 32484.0 | 104659.8 | 304190.8 |
| | 1994年(実質) | 863259.6 | 147748.8 | 35329.6 | 213708.7 | 35528.5 | 130034.5 | 300909.4 |
| 1993年構成比 | 100.0 | 17.68 | 4.49 | 24.58 | 3.92 | 12.63 | 36.71 | |
| 1994年成長率 | 4.17 | 0.85 | -5.03 | 4.92 | 9.37 | 24.24 | -1.08 | |
| 寄与度 | 4.17 | 0.15 | -0.23 | 1.21 | 0.37 | 3.06 | -0.40 | |
| 34歳 | 1980年(実質) | 704210.5 | 126691.6 | 30035.5 | 148839.7 | 16370.9 | 58607.1 | 323665.9 |
| | 1981年(実質) | 700245.7 | 127065.4 | 25372.7 | 146544.4 | 19008.2 | 60528.0 | 321736.0 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 17.99 | 4.27 | 21.14 | 2.32 | 8.32 | 45.96 |
| | 1981年成長率 | -0.56 | 0.30 | -15.52 | -1.54 | 16.11 | 3.28 | -0.60 |
| 寄与度 | -0.56 | 0.05 | -0.66 | -0.33 | 0.37 | 0.27 | -0.27 | |
| 1987年(実質) | 791339.7 | 138208.1 | 43243.1 | 163880.0 | 23028.7 | 90839.7 | 332140.1 | |
| 1988年(実質) | 831031.6 | 142381.5 | 39409.9 | 175696.5 | 29751.3 | 92506.8 | 351285.6 | |
| 1987年構成比 | 100.0 | 17.47 | 5.46 | 20.71 | 2.91 | 11.48 | 41.97 | |
| 1988年成長率 | 5.02 | 3.02 | -8.86 | 7.21 | 29.19 | 1.84 | 5.76 | |
| 寄与度 | 5.02 | 0.53 | -0.48 | 1.49 | 0.85 | 0.21 | 2.42 | |
| 1993年(実質) | 828727.4 | 146501.9 | 37201.1 | 203689.8 | 32484.0 | 104659.8 | 304190.8 | |
| 1994年(実質) | 863259.6 | 147748.8 | 35329.6 | 213708.7 | 35528.5 | 130034.5 | 300909.4 | |
| 1993年構成比 | 100.0 | 17.68 | 4.49 | 24.58 | 3.92 | 12.63 | 36.71 | |
| 1994年成長率 | 4.17 | 0.85 | -5.03 | 4.92 | 9.37 | 24.24 | -1.08 | |
| 寄与度 | 4.17 | 0.15 | -0.23 | 1.21 | 0.37 | 3.06 | -0.40 | |

計算式: (2-2) 式

(表4-2(a)のつづき)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 | |
|----------|-----------|------------|-----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|
| 35) | 1980年(実質) | 813627.9 | 131110.2 | 35578.9 | 195760.1 | 25280.3 | 73105.3 | 352793.1 | |
| | 1981年(実質) | 794056.1 | 132650.7 | 37847.0 | 187834.1 | 26633.2 | 78139.0 | 330952.1 | |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 16.11 | 4.37 | 24.06 | 3.11 | 8.99 | 43.36 | |
| | 1981年成長率 | -2.41 | 1.17 | 6.37 | -4.05 | 5.35 | 6.89 | -6.19 | |
| | 寄与度 | -2.41 | 0.19 | 0.28 | -0.97 | 0.17 | 0.62 | -2.68 | |
| | 39) | 1987年(実質) | 852201.7 | 146851.4 | 49094.5 | 200026.5 | 35797.2 | 81900.2 | 338531.8 |
| | | 1988年(実質) | 932098.0 | 156330.9 | 52139.1 | 212836.7 | 37931.5 | 97768.2 | 375091.7 |
| | | 1987年構成比 | 100.0 | 17.23 | 5.76 | 23.47 | 4.20 | 9.61 | 39.72 |
| 1988年成長率 | | 9.38 | 6.46 | 6.20 | 6.40 | 5.96 | 19.37 | 10.80 | |
| 寄与度 | | 9.38 | 1.11 | 0.36 | 1.50 | 0.25 | 1.86 | 4.29 | |
| 40) | | 1993年(実質) | 962237.8 | 156921.1 | 44503.8 | 259538.5 | 46808.3 | 122993.4 | 331472.7 |
| | | 1994年(実質) | 932386.6 | 152566.8 | 41167.1 | 250547.2 | 48578.0 | 110378.2 | 329149.4 |
| | | 1993年構成比 | 100.0 | 16.31 | 4.63 | 26.97 | 4.86 | 12.78 | 34.45 |
| | 1994年成長率 | -3.10 | -2.77 | -7.50 | -3.46 | 3.78 | -10.26 | -0.70 | |
| | 寄与度 | -3.10 | -0.45 | -0.35 | -0.93 | 0.18 | -1.31 | -0.24 | |
| | 44) | 1980年(実質) | 843714.8 | 138782.1 | 42282.7 | 184811.5 | 33068.5 | 91625.5 | 353144.4 |
| | | 1981年(実質) | 854772.2 | 139095.8 | 40390.2 | 191112.1 | 37102.8 | 88325.9 | 358745.3 |
| | | 1980年構成比 | 100.0 | 16.45 | 5.01 | 21.90 | 3.92 | 10.86 | 41.86 |
| 1981年成長率 | | 1.31 | 0.23 | -4.48 | 3.41 | 12.20 | -3.60 | 1.59 | |
| 寄与度 | | 1.31 | 0.04 | -0.22 | 0.75 | 0.48 | -0.39 | 0.66 | |
| 44) | | 1987年(実質) | 912649.7 | 152360.9 | 45204.9 | 195742.0 | 40287.7 | 97853.5 | 381200.6 |
| | | 1988年(実質) | 989429.9 | 166437.3 | 59563.8 | 216390.9 | 45542.7 | 104669.1 | 396826.1 |
| | | 1987年構成比 | 100.0 | 16.69 | 4.95 | 21.45 | 4.41 | 10.72 | 41.77 |
| | 1988年成長率 | 8.41 | 9.24 | 31.76 | 10.55 | 13.04 | 6.97 | 4.10 | |
| | 寄与度 | 8.41 | 1.54 | 1.57 | 2.26 | 0.58 | 0.75 | 1.71 | |
| | 45) | 1993年(実質) | 1018594.9 | 161995.3 | 31169.2 | 245766.0 | 56123.1 | 126384.4 | 397157.0 |
| | | 1994年(実質) | 1019065.4 | 162057.0 | 35955.2 | 254996.3 | 50194.2 | 127981.3 | 387881.4 |
| | | 1993年構成比 | 100.0 | 15.90 | 3.06 | 24.13 | 5.51 | 12.41 | 38.99 |
| 1994年成長率 | | 0.05 | 0.04 | 15.35 | 3.76 | -10.56 | 1.26 | -2.34 | |
| 寄与度 | | 0.05 | 0.01 | 0.47 | 0.91 | -0.58 | 0.16 | -0.91 | |
| 49) | | 1980年(実質) | 872873.9 | 136581.4 | 33692.8 | 169063.6 | 27547.1 | 96929.0 | 409060.0 |
| | | 1981年(実質) | 864962.2 | 140170.6 | 32667.1 | 174783.9 | 26496.5 | 98010.5 | 392834.1 |
| | | 1980年構成比 | 100.0 | 15.65 | 3.86 | 19.37 | 3.16 | 11.10 | 46.86 |
| | 1981年成長率 | -0.91 | 2.63 | -3.04 | 3.38 | -3.81 | 1.12 | -3.97 | |
| | 寄与度 | -0.91 | 0.41 | -0.12 | 0.66 | -0.12 | 0.12 | -1.86 | |
| | 49) | 1987年(実質) | 942529.7 | 154600.8 | 49024.4 | 181025.5 | 32582.8 | 107126.3 | 418169.9 |
| | | 1988年(実質) | 1051946.3 | 168263.4 | 50663.9 | 184390.9 | 35915.7 | 118916.8 | 493795.6 |
| | | 1987年構成比 | 100.0 | 16.40 | 5.20 | 19.21 | 3.46 | 11.37 | 44.37 |
| 1988年成長率 | | 11.61 | 8.84 | 3.34 | 1.86 | 10.23 | 11.01 | 18.08 | |
| 寄与度 | | 11.61 | 1.45 | 0.17 | 0.36 | 0.35 | 1.25 | 8.02 | |
| 50) | | 1993年(実質) | 1078730.3 | 172519.7 | 34935.2 | 218330.8 | 46288.5 | 135941.7 | 470714.3 |
| | | 1994年(実質) | 1023415.5 | 168663.9 | 43028.0 | 219113.0 | 40795.5 | 121894.5 | 429920.6 |
| | | 1993年構成比 | 100.0 | 15.99 | 3.24 | 20.24 | 4.29 | 12.60 | 43.64 |
| | 1994年成長率 | -5.13 | -2.23 | 23.17 | 0.36 | -11.87 | -10.33 | -8.67 | |
| | 寄与度 | -5.13 | -0.36 | 0.75 | 0.07 | -0.51 | -1.30 | -3.78 | |
| | 54) | 1980年(実質) | 956598.5 | 144547.1 | 38007.3 | 165638.9 | 17478.6 | 115176.3 | 475750.3 |
| | | 1981年(実質) | 919539.7 | 131810.7 | 37806.1 | 162022.2 | 13757.0 | 113217.3 | 460926.4 |
| | | 1980年構成比 | 100.0 | 15.11 | 3.97 | 17.32 | 1.83 | 12.04 | 49.73 |
| 1981年成長率 | | -3.87 | -8.81 | -0.53 | -2.18 | -21.29 | -1.70 | -3.12 | |
| 寄与度 | | -3.87 | -1.33 | -0.02 | -0.38 | -0.39 | -0.20 | -1.55 | |
| 54) | | 1987年(実質) | 968636.9 | 165001.1 | 34647.6 | 160253.7 | 24280.3 | 115555.2 | 468899.2 |
| | | 1988年(実質) | 1047847.2 | 171211.8 | 46376.2 | 169361.4 | 23306.6 | 137794.5 | 499796.6 |
| | | 1987年構成比 | 100.0 | 17.03 | 3.58 | 16.54 | 2.51 | 11.93 | 48.41 |
| | 1988年成長率 | 8.18 | 3.76 | 33.85 | 5.68 | -4.01 | 19.25 | 6.59 | |
| | 寄与度 | 8.18 | 0.64 | 1.21 | 0.94 | -0.10 | 2.30 | 3.19 | |

自由時間関連財需要の平均年成長率および寄与度に基づく分析

(表4-2(a)のつづき)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 |
|--------------------|-----------|------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 50 ～ 54 歳 | 1993年(実質) | 1119053.6 | 183803.6 | 39060.2 | 190421.1 | 41744.4 | 166375.9 | 497648.5 |
| | 1994年(実質) | 1053955.2 | 178338.9 | 29366.0 | 191686.3 | 32001.9 | 150078.4 | 472483.7 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 16.42 | 3.49 | 17.02 | 3.73 | 14.87 | 44.47 |
| | 1994年成長率 | -5.82 | -2.97 | -24.82 | 0.66 | -23.34 | -9.80 | -5.06 |
| | 寄与度 | -5.82 | -0.49 | -0.87 | 0.11 | -0.87 | -1.46 | -2.25 |
| 55 ～ 59 歳 | 1980年(実質) | 771318.2 | 127280.3 | 29656.1 | 150083.2 | 8833.5 | 117827.4 | 337637.7 |
| | 1981年(実質) | 780503.5 | 118294.4 | 23411.2 | 152426.4 | 10112.1 | 110517.5 | 365741.8 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 16.50 | 3.84 | 19.46 | 1.15 | 15.28 | 43.77 |
| | 1981年成長率 | 1.19 | -7.06 | -21.06 | 1.56 | 14.47 | -6.20 | 8.32 |
| | 寄与度 | 1.19 | -1.17 | -0.81 | 0.30 | 0.17 | -0.95 | 3.64 |
| 60 ～ 64 歳 | 1987年(実質) | 946888.5 | 157193.2 | 34871.5 | 170204.9 | 15333.3 | 141144.4 | 428141.2 |
| | 1988年(実質) | 944286.6 | 159455.2 | 30956.8 | 162425.7 | 19476.3 | 156907.3 | 415065.3 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 16.60 | 3.68 | 17.98 | 1.62 | 14.91 | 45.22 |
| | 1988年成長率 | 0.27 | 1.44 | -11.23 | -4.57 | 27.02 | 11.17 | -3.05 |
| | 寄与度 | 0.27 | 0.24 | -0.41 | -0.82 | 0.44 | 1.66 | -1.38 |
| 65 ～ 69 歳 | 1993年(実質) | 984416.4 | 174702.1 | 21268.8 | 195633.5 | 30461.5 | 157321.4 | 405029.1 |
| | 1994年(実質) | 981072.8 | 166071.0 | 23083.1 | 185055.1 | 25007.5 | 170023.3 | 411832.9 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 17.75 | 2.16 | 19.87 | 3.09 | 15.98 | 41.14 |
| | 1994年成長率 | 0.34 | 4.94 | 8.53 | 5.41 | -17.90 | 8.07 | 1.68 |
| | 寄与度 | 0.34 | -0.88 | 0.18 | 1.07 | -0.55 | 1.29 | 0.69 |
| 70 ～ 74 歳 | 1980年(実質) | 560374.5 | 105259.5 | 17345.2 | 135332.9 | 8811.5 | 86362.3 | 207263.2 |
| | 1981年(実質) | 541883.2 | 100955.6 | 20428.7 | 140163.6 | 6612.1 | 101753.5 | 171969.6 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 18.78 | 3.10 | 24.15 | 1.57 | 15.41 | 36.99 |
| | 1981年成長率 | -3.30 | 4.09 | 17.78 | 3.57 | -24.96 | 17.82 | -17.03 |
| | 寄与度 | -3.30 | -0.77 | 0.55 | 0.86 | 0.39 | 2.75 | -6.30 |
| 75 ～ 79 歳 | 1987年(実質) | 716327.0 | 134445.9 | 33534.0 | 162520.2 | 14642.3 | 140652.9 | 230531.8 |
| | 1988年(実質) | 780559.5 | 140109.6 | 34281.3 | 172438.4 | 20852.5 | 169048.5 | 243829.3 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 18.77 | 4.68 | 22.69 | 2.04 | 19.64 | 32.18 |
| | 1988年成長率 | 8.97 | 4.21 | 2.23 | 6.10 | 42.41 | 20.19 | 5.77 |
| | 寄与度 | 8.97 | 0.79 | 0.10 | 1.38 | 0.87 | 3.96 | 1.86 |
| 80 ～ 84 歳 | 1993年(実質) | 785747.2 | 134535.7 | 26750.9 | 185575.2 | 22560.2 | 165998.1 | 250327.1 |
| | 1994年(実質) | 792966.4 | 145568.6 | 22550.9 | 181411.8 | 21107.4 | 176085.0 | 246242.8 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 17.12 | 3.40 | 23.62 | 2.87 | 21.13 | 31.86 |
| | 1994年成長率 | 0.92 | 8.20 | -15.70 | -2.24 | -6.44 | 6.08 | -1.63 |
| | 寄与度 | 0.92 | 1.40 | 0.53 | 0.53 | 0.18 | 1.28 | -0.52 |
| 85 ～ 89 歳 | 1980年(実質) | 467603.4 | 93287.6 | 20417.4 | 127314.6 | 8842.1 | 101701.3 | 116040.0 |
| | 1981年(実質) | 447781.5 | 88042.1 | 20253.5 | 122573.6 | 9132.0 | 104593.5 | 103186.9 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 19.95 | 4.37 | 27.23 | 1.89 | 21.75 | 24.82 |
| | 1981年成長率 | -4.24 | -5.62 | -0.80 | -3.72 | 3.28 | 2.84 | 11.08 |
| | 寄与度 | -4.24 | 1.12 | -0.04 | -1.01 | 0.06 | 0.62 | 2.75 |
| 90 ～ 94 歳 | 1987年(実質) | 580227.2 | 105629.5 | 24673.0 | 151035.0 | 15396.0 | 146387.5 | 137106.2 |
| | 1988年(実質) | 555189.7 | 102089.6 | 22961.0 | 144420.4 | 12036.9 | 147219.2 | 126462.6 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 18.20 | 4.25 | 26.03 | 2.65 | 25.23 | 23.63 |
| | 1988年成長率 | -4.32 | -3.35 | -6.94 | 4.38 | 21.82 | 0.57 | 7.76 |
| | 寄与度 | -4.32 | -0.61 | -0.30 | 1.14 | 0.58 | 0.14 | -1.83 |
| 95 ～ 99 歳 | 1993年(実質) | 589801.7 | 103671.1 | 18077.1 | 163971.8 | 14922.0 | 141306.4 | 147853.4 |
| | 1994年(実質) | 594639.6 | 106042.0 | 19933.7 | 164384.0 | 17143.8 | 142823.5 | 144393.1 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 17.58 | 3.06 | 27.80 | 2.53 | 23.96 | 25.07 |
| | 1994年成長率 | 0.82 | 2.29 | 10.27 | 0.25 | 14.89 | 1.07 | -2.34 |
| | 寄与度 | 0.82 | 0.40 | 0.31 | 0.07 | 0.38 | 0.26 | -0.59 |

表4-2(b). 自由関連支出項目の寄与度

(全世帯の所得階級別)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 |
|----------|-----------|------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 第I所得階級 | 1980年(実質) | 378006.1 | 85570.4 | 14558.1 | 100698.9 | 10039.2 | 46993.9 | 120145.7 |
| | 1981年(実質) | 358443.9 | 74343.5 | 13967.3 | 100165.9 | 9746.5 | 47491.8 | 112729.0 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 22.64 | 3.85 | 26.64 | 2.66 | 12.43 | 31.78 |
| | 1981年成長率 | -5.18 | -13.12 | -4.06 | -0.53 | -2.92 | 1.06 | -6.17 |
| | 寄与度 | -5.18 | -2.97 | -0.16 | -0.14 | -0.08 | 0.13 | -1.96 |
| | 1987年(実質) | 399707.0 | 80108.3 | 18780.3 | 113472.4 | 10683.7 | 60800.4 | 115862.0 |
| | 1988年(実質) | 424231.8 | 87085.4 | 21509.0 | 112044.3 | 12536.4 | 65676.5 | 125380.4 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 20.04 | 4.70 | 28.39 | 2.67 | 15.21 | 28.99 |
| | 1988年成長率 | 6.14 | 8.71 | 14.53 | -1.26 | 17.34 | 8.02 | 8.22 |
| | 寄与度 | 6.14 | 1.75 | 0.68 | -0.36 | 0.46 | 1.22 | 2.38 |
| | 1993年(実質) | 451222.7 | 85400.4 | 15500.9 | 137039.5 | 13171.1 | 81006.6 | 119104.3 |
| | 1994年(実質) | 438735.8 | 84292.3 | 14453.8 | 128450.0 | 12529.4 | 75050.4 | 123959.9 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 18.93 | 3.44 | 30.37 | 2.92 | 17.95 | 26.40 |
| | 1994年成長率 | -2.77 | -1.30 | -6.76 | -6.27 | -4.87 | -7.35 | 4.08 |
| | 寄与度 | -2.77 | -0.25 | -0.23 | -1.90 | -0.14 | -1.32 | 1.08 |
| 第II所得階級 | 1980年(実質) | 566680.5 | 105177.5 | 23789.5 | 133488.4 | 15894.7 | 56373.3 | 231957.2 |
| | 1981年(実質) | 568531.5 | 104454.4 | 21135.5 | 134207.9 | 15919.4 | 63983.6 | 228830.6 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 18.56 | 4.20 | 23.56 | 2.80 | 9.95 | 40.93 |
| | 1981年成長率 | 0.33 | -0.69 | -11.16 | 0.54 | 0.16 | 13.50 | -1.35 |
| | 寄与度 | 0.33 | -0.13 | -0.47 | 0.13 | 0.00 | 1.34 | -0.55 |
| | 1987年(実質) | 636162.4 | 120970.3 | 30318.5 | 142405.5 | 22122.1 | 74483.0 | 245863.1 |
| | 1988年(実質) | 673291.9 | 126983.1 | 32768.2 | 149754.5 | 20461.5 | 84651.2 | 258673.3 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 19.02 | 4.77 | 22.39 | 3.48 | 11.71 | 38.65 |
| | 1988年成長率 | 5.84 | 4.97 | 8.08 | 5.16 | -7.51 | 13.65 | 5.21 |
| | 寄与度 | 5.84 | 0.95 | 0.39 | 1.16 | -0.26 | 1.60 | 2.01 |
| | 1993年(実質) | 667048.9 | 118734.0 | 25265.0 | 171979.3 | 23826.1 | 86250.9 | 240993.4 |
| | 1994年(実質) | 676919.7 | 120654.5 | 23147.5 | 174865.5 | 25006.5 | 99485.5 | 233760.0 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 17.80 | 3.79 | 25.78 | 3.57 | 12.93 | 36.13 |
| | 1994年成長率 | 1.48 | 1.62 | -8.38 | 1.68 | 4.95 | 15.34 | -3.00 |
| | 寄与度 | 1.48 | 0.29 | -0.32 | 0.43 | 0.18 | 1.98 | -1.08 |
| 第III所得階級 | 1980年(実質) | 746506.7 | 126951.0 | 34445.5 | 160095.5 | 20121.2 | 73153.0 | 331740.5 |
| | 1981年(実質) | 737641.4 | 125045.6 | 29954.4 | 163077.1 | 23218.5 | 78899.5 | 317446.3 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 17.01 | 4.61 | 21.45 | 2.70 | 9.80 | 44.44 |
| | 1981年成長率 | -1.19 | -1.50 | -13.04 | 1.86 | 15.39 | 7.86 | -4.31 |
| | 寄与度 | -1.19 | -0.26 | -0.60 | 0.40 | 0.41 | 0.77 | -1.91 |
| | 1987年(実質) | 790419.3 | 136291.9 | 40020.2 | 164575.4 | 26789.8 | 86390.7 | 336351.4 |
| | 1988年(実質) | 853322.4 | 139426.8 | 40265.5 | 178714.4 | 27736.6 | 112476.3 | 354702.8 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 17.24 | 5.06 | 20.82 | 3.39 | 10.93 | 42.55 |
| | 1988年成長率 | 7.96 | 2.30 | 0.61 | 8.59 | 3.53 | 30.19 | 5.46 |
| | 寄与度 | 7.96 | 0.40 | 0.03 | 1.79 | 0.12 | 3.30 | 2.32 |
| | 1993年(実質) | 894272.6 | 148175.8 | 32551.7 | 208739.7 | 35094.9 | 119895.7 | 349814.8 |
| | 1994年(実質) | 854119.6 | 149314.7 | 27718.0 | 207737.6 | 33523.9 | 111768.4 | 324057.0 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 16.57 | 3.64 | 23.34 | 3.92 | 13.41 | 39.12 |
| | 1994年成長率 | -4.49 | 0.77 | -14.85 | -0.48 | -4.48 | -6.78 | -7.36 |
| | 寄与度 | -4.49 | 0.13 | -0.54 | -0.11 | -0.18 | -0.91 | -2.88 |

自由時間関連財需要の平均年成長率および寄与度に基づく分析

(表4-2(b)のつづき)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 |
|--------|-----------|------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 第Ⅳ所得階級 | 1980年(実質) | 899860.5 | 138990.2 | 41487.1 | 180468.8 | 21444.3 | 96217.9 | 421252.1 |
| | 1981年(実質) | 901993.0 | 140939.3 | 42134.3 | 178908.9 | 24634.3 | 95377.3 | 419998.8 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 15.45 | 4.61 | 20.06 | 2.38 | 10.69 | 46.81 |
| | 1981年成長率 | 0.24 | 1.40 | 1.56 | -0.86 | 14.88 | -0.87 | -0.30 |
| | 寄与度 | 0.24 | 0.22 | 0.07 | -0.17 | 0.35 | -0.09 | -0.14 |
| | 1987年(実質) | 1003387.5 | 164017.0 | 46881.1 | 194887.5 | 29517.0 | 121857.7 | 446227.2 |
| | 1988年(実質) | 1050020.0 | 168595.4 | 51977.9 | 200597.5 | 34719.7 | 130666.0 | 463463.6 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 16.35 | 4.67 | 19.42 | 2.94 | 12.14 | 44.47 |
| | 1988年成長率 | 4.65 | 2.79 | 10.87 | 2.93 | 17.63 | 7.23 | 3.86 |
| | 寄与度 | 4.65 | 0.46 | 0.51 | 0.57 | 0.52 | 0.88 | 1.72 |
| | 1993年(実質) | 1096745.3 | 175491.5 | 38999.1 | 230497.2 | 43363.7 | 157578.9 | 450814.8 |
| | 1994年(実質) | 1071879.6 | 171360.4 | 39711.5 | 233183.9 | 38365.1 | 148583.6 | 440675.1 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 16.00 | 3.56 | 21.02 | 3.95 | 14.37 | 41.10 |
| | 1994年成長率 | -2.27 | -2.35 | 1.83 | 1.17 | -11.53 | -5.71 | -2.25 |
| | 寄与度 | -2.27 | -0.38 | 0.06 | 0.24 | -0.46 | -0.82 | -0.92 |
| 第Ⅴ所得階級 | 1980年(実質) | 1250736.8 | 188740.5 | 48569.2 | 235487.1 | 33470.0 | 163916.8 | 580553.2 |
| | 1981年(実質) | 1215320.1 | 186286.2 | 46764.0 | 231802.6 | 30470.8 | 160028.0 | 559968.5 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 15.09 | 3.88 | 18.83 | 2.68 | 13.11 | 46.42 |
| | 1981年成長率 | -2.83 | -1.30 | -3.72 | -1.56 | -8.96 | -2.37 | -3.55 |
| | 寄与度 | -2.83 | -0.20 | -0.14 | -0.29 | -0.24 | -0.31 | -1.65 |
| | 1987年(実質) | 1385173.0 | 226897.0 | 65777.1 | 250052.0 | 43236.7 | 211181.5 | 588028.7 |
| | 1988年(実質) | 1483285.6 | 238397.3 | 71163.3 | 258839.8 | 49261.3 | 230425.7 | 635198.1 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 16.38 | 4.75 | 18.05 | 3.12 | 15.25 | 42.45 |
| | 1988年成長率 | 7.08 | 5.07 | 8.19 | 3.51 | 13.93 | 9.11 | 8.02 |
| | 寄与度 | 7.08 | 0.83 | 0.39 | 0.63 | 0.43 | 1.39 | 3.41 |
| | 1993年(実質) | 1461936.1 | 239978.4 | 49666.4 | 277101.5 | 65803.6 | 249911.7 | 579474.6 |
| | 1994年(実質) | 1441036.4 | 234673.2 | 48300.7 | 279081.2 | 56578.9 | 255919.7 | 566482.7 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 16.42 | 3.40 | 18.95 | 4.50 | 17.09 | 39.64 |
| | 1994年成長率 | -1.43 | -2.21 | -2.75 | 0.71 | -14.02 | 2.40 | -2.24 |
| | 寄与度 | -1.43 | -0.36 | -0.09 | 0.14 | -0.63 | 0.41 | -0.89 |

表4-2(c) 自由時間関連支出項目の寄与度 (勤労者世帯の所得階級別)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 |
|---------|-----------|------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 勤労者世帯平均 | 1980年(実質) | 869091.8 | 126875.2 | 35434.5 | 166293.8 | 20631.6 | 83216.6 | 436640.1 |
| | 1981年(実質) | 869365.7 | 127640.2 | 36157.7 | 166970.8 | 22066.6 | 86990.7 | 429539.7 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 14.60 | 4.08 | 19.13 | 2.37 | 9.58 | 50.24 |
| | 1981年成長率 | 0.03 | 0.60 | 2.04 | 0.41 | 6.96 | 4.54 | -1.63 |
| | 寄与度 | 0.03 | 0.09 | 0.08 | 0.08 | 0.17 | 0.43 | -0.82 |
| | 1987年(実質) | 963422.5 | 146683.7 | 45915.1 | 179109.3 | 28007.4 | 103864.1 | 459842.9 |
| | 1988年(実質) | 1026066.4 | 154191.8 | 51392.0 | 188403.6 | 30840.9 | 114624.9 | 486613.3 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 15.23 | 4.77 | 18.59 | 2.91 | 10.78 | 47.73 |
| | 1988年成長率 | 6.50 | 5.12 | 11.93 | 5.19 | 10.12 | 10.36 | 5.82 |
| | 寄与度 | 6.50 | 0.78 | 0.57 | 0.96 | 0.29 | 1.12 | 2.78 |
| 第I所得階級 | 1993年(実質) | 1034405.1 | 155547.9 | 38506.6 | 214463.3 | 37202.1 | 135086.5 | 453598.7 |
| | 1994年(実質) | 1014313.7 | 155493.0 | 36388.4 | 217038.3 | 35519.1 | 131745.1 | 438129.8 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 15.04 | 3.72 | 20.73 | 3.60 | 13.06 | 43.85 |
| | 1994年成長率 | -1.94 | -0.04 | -5.50 | 1.20 | -4.52 | -2.47 | -3.41 |
| | 寄与度 | -1.94 | -0.01 | -0.20 | 0.25 | -0.16 | -0.32 | -1.50 |
| | 1980年(実質) | 478091.8 | 89242.4 | 18543.5 | 104658.5 | 11871.5 | 44083.2 | 209692.8 |
| | 1981年(実質) | 469467.3 | 85450.9 | 18223.1 | 107378.5 | 11793.2 | 42537.4 | 204084.1 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 18.67 | 3.88 | 21.89 | 2.48 | 9.22 | 43.86 |
| | 1981年成長率 | -1.80 | -4.25 | -1.73 | 2.60 | -0.66 | -3.51 | -2.67 |
| | 寄与度 | -1.80 | -0.79 | -0.07 | 0.57 | -0.02 | -0.32 | -1.17 |
| 第II所得階級 | 1987年(実質) | 525820.6 | 96087.0 | 25403.4 | 116573.2 | 15532.9 | 50737.8 | 221486.2 |
| | 1988年(実質) | 569813.5 | 106350.9 | 28411.0 | 122405.7 | 16168.6 | 60463.6 | 236013.7 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 18.27 | 4.83 | 22.17 | 2.95 | 9.65 | 42.12 |
| | 1988年成長率 | 8.37 | 10.68 | 11.84 | 5.00 | 4.09 | 19.17 | 6.56 |
| | 寄与度 | 8.37 | 1.95 | 0.57 | 1.11 | 0.12 | 1.85 | 2.76 |
| | 1993年(実質) | 574034.8 | 102910.7 | 21340.2 | 144671.1 | 18141.0 | 62660.7 | 224311.1 |
| | 1994年(実質) | 569122.3 | 101134.5 | 19759.1 | 143840.3 | 19133.5 | 68859.9 | 216395.0 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 17.93 | 3.72 | 25.20 | 3.16 | 10.92 | 39.08 |
| | 1994年成長率 | -0.86 | -1.73 | -7.41 | -0.57 | 5.47 | 9.89 | -3.53 |
| | 寄与度 | -0.86 | -0.31 | -0.28 | -0.14 | 0.17 | 1.08 | -1.38 |
| 第II所得階級 | 1980年(実質) | 647272.9 | 110367.2 | 24375.8 | 136019.6 | 16634.0 | 56896.0 | 302980.4 |
| | 1981年(実質) | 671316.6 | 113594.6 | 26954.4 | 139421.7 | 17417.1 | 63261.7 | 310667.1 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 17.05 | 3.77 | 21.01 | 2.57 | 8.79 | 46.81 |
| | 1981年成長率 | 3.71 | 2.92 | 10.58 | 2.50 | 4.71 | 11.19 | 2.54 |
| | 寄与度 | 3.71 | 0.50 | 0.40 | 0.53 | 0.12 | 0.98 | 1.19 |
| | 1987年(実質) | 747971.3 | 125711.3 | 34423.6 | 150766.5 | 24514.9 | 68787.7 | 343767.5 |
| | 1988年(実質) | 806112.8 | 129838.8 | 43208.6 | 164815.6 | 27393.0 | 78994.7 | 361862.0 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 16.81 | 4.60 | 20.16 | 3.28 | 9.20 | 45.96 |
| | 1988年成長率 | 7.77 | 3.28 | 25.52 | 9.32 | 11.74 | 14.84 | 5.26 |
| | 寄与度 | 7.77 | 0.55 | 1.17 | 1.88 | 0.38 | 1.36 | 2.42 |
| 第II所得階級 | 1993年(実質) | 814888.2 | 129340.2 | 27201.1 | 192278.2 | 30821.4 | 90746.2 | 344500.9 |
| | 1994年(実質) | 795509.8 | 132604.1 | 30291.3 | 191561.2 | 29605.0 | 90271.7 | 321176.5 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 15.87 | 3.34 | 23.60 | 3.78 | 11.14 | 42.28 |
| | 1994年成長率 | -2.38 | 2.52 | 11.36 | -0.37 | -3.95 | -0.52 | -6.77 |
| | 寄与度 | -2.38 | 0.40 | 0.38 | -0.09 | -0.15 | -0.06 | -2.86 |

自由時間関連財需要の平均年成長率および寄与度に基づく分析

(表4-2(c)のつづき)

| 階級 | 寄与度等 | 自由時間関連支出合計 | 一般外食 | 耐久財 | 教養娯楽 | スポーツ | 旅行 | その他 |
|--------|-----------|------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 第Ⅲ所得階級 | 1980年(実質) | 835731.9 | 125648.7 | 40932.7 | 164899.6 | 21183.6 | 71274.2 | 411793.1 |
| | 1981年(実質) | 823125.0 | 124279.2 | 30584.1 | 167590.0 | 26112.1 | 81883.2 | 392676.4 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 15.03 | 4.90 | 19.73 | 2.53 | 8.53 | 49.27 |
| | 1981年成長率 | -1.51 | -1.09 | -25.28 | 1.63 | 23.27 | 14.88 | -4.64 |
| | 寄与度 | -1.51 | -0.16 | -1.24 | 0.32 | 0.59 | 1.27 | -2.29 |
| | 1987年(実質) | 910432.1 | 140403.4 | 45727.2 | 178473.5 | 29034.0 | 90842.9 | 425951.2 |
| | 1988年(実質) | 948938.9 | 145833.5 | 45339.3 | 187080.1 | 30907.3 | 97526.9 | 442251.8 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 15.42 | 5.02 | 19.60 | 3.19 | 9.98 | 46.79 |
| | 1988年成長率 | 4.23 | 3.87 | -0.85 | 4.82 | 6.45 | 7.36 | 3.83 |
| | 寄与度 | 4.23 | 0.60 | -0.04 | 0.95 | 0.21 | 0.73 | 1.79 |
| | 1993年(実質) | 1029378.8 | 154557.3 | 47467.1 | 220035.7 | 39131.6 | 125251.9 | 442935.2 |
| | 1994年(実質) | 966809.5 | 155855.3 | 32295.1 | 220985.1 | 35599.4 | 117021.5 | 405053.2 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 15.01 | 4.61 | 21.38 | 3.80 | 12.17 | 43.03 |
| | 1994年成長率 | 6.08 | 0.84 | -31.96 | 0.43 | -9.03 | -6.57 | -8.55 |
| | 寄与度 | -6.08 | 0.13 | -1.47 | 0.09 | -0.34 | -0.80 | -3.68 |
| 第Ⅳ所得階級 | 1980年(実質) | 979399.0 | 137870.3 | 41394.1 | 182539.8 | 22559.4 | 93779.7 | 501255.8 |
| | 1981年(実質) | 1018496.5 | 141192.8 | 50111.0 | 186986.0 | 26272.2 | 96723.1 | 517211.4 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 14.08 | 4.23 | 18.64 | 2.30 | 9.58 | 51.18 |
| | 1981年成長率 | 3.99 | 2.41 | 21.06 | 2.44 | 16.46 | 3.14 | 3.18 |
| | 寄与度 | 3.99 | 0.34 | 0.89 | 0.45 | 0.38 | 0.30 | 1.63 |
| | 1987年(実質) | 1106822.7 | 161952.2 | 53649.7 | 199651.8 | 32104.0 | 118963.9 | 540501.1 |
| | 1988年(実質) | 1182502.6 | 169233.9 | 59779.8 | 210948.4 | 36937.8 | 126995.8 | 578607.0 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 14.63 | 4.85 | 18.04 | 2.90 | 10.75 | 48.83 |
| | 1988年成長率 | 6.84 | 4.50 | 11.43 | 5.66 | 15.06 | 6.75 | 7.05 |
| | 寄与度 | 6.84 | 0.66 | 0.55 | 1.02 | 0.44 | 0.73 | 3.44 |
| | 1993年(実質) | 1170992.5 | 173485.9 | 36905.1 | 236415.4 | 41624.1 | 155153.2 | 527408.8 |
| | 1994年(実質) | 1172554.6 | 171930.9 | 43868.3 | 241367.9 | 40773.1 | 144732.0 | 529882.4 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 14.82 | 3.15 | 20.19 | 3.55 | 13.25 | 45.04 |
| | 1994年成長率 | 0.13 | -0.90 | 18.87 | 2.09 | -2.04 | -6.72 | 0.47 |
| | 寄与度 | 0.13 | -0.13 | 0.59 | 0.42 | -0.07 | -0.89 | 0.21 |
| 第Ⅴ所得階級 | 1980年(実質) | 1393394.1 | 171249.7 | 51919.2 | 231789.5 | 30907.0 | 150047.7 | 757481.0 |
| | 1981年(実質) | 1358973.1 | 173685.7 | 49481.3 | 233463.8 | 28741.8 | 150538.6 | 723061.9 |
| | 1980年構成比 | 100.0 | 12.29 | 3.73 | 16.63 | 2.22 | 10.77 | 54.36 |
| | 1981年成長率 | -2.47 | 1.42 | -4.70 | 0.72 | -7.01 | 0.33 | -4.54 |
| | 寄与度 | -2.47 | 0.17 | -0.17 | 0.12 | -0.16 | 0.04 | -2.47 |
| | 1987年(実質) | 1545132.8 | 209266.5 | 70321.7 | 250084.9 | 38856.7 | 189986.2 | 786616.8 |
| | 1988年(実質) | 1622955.7 | 219700.7 | 80227.6 | 256755.5 | 42795.6 | 209144.4 | 814331.9 |
| | 1987年構成比 | 100.0 | 13.54 | 4.55 | 16.19 | 2.51 | 12.30 | 50.91 |
| | 1988年成長率 | 5.04 | 4.99 | 14.09 | 2.67 | 10.14 | 10.08 | 3.52 |
| | 寄与度 | 5.04 | 0.68 | 0.64 | 0.43 | 0.25 | 1.24 | 1.79 |
| | 1993年(実額) | 1582723.7 | 217442.7 | 59619.4 | 278912.6 | 56295.1 | 241613.7 | 728840.2 |
| | 1994年(実額) | 1567563.1 | 215940.2 | 55725.5 | 287437.0 | 52482.7 | 237837.5 | 718140.1 |
| | 1993年構成比 | 100.0 | 13.74 | 3.77 | 17.62 | 3.56 | 15.27 | 46.05 |
| | 1994年成長率 | -0.96 | -0.69 | -6.53 | 3.06 | -6.77 | -1.56 | -1.47 |
| | 寄与度 | -0.96 | -0.09 | -0.25 | 0.54 | -0.24 | -0.24 | -0.68 |

項目の構成比と成長率とから、寄与度および寄与度合計等を求めたのが、それぞれ表4-2(a)~(c)である。

5. 平均年成長率および寄与度に基づく傾向分析結果の考察

まず、表4-1(a)~(c)の全世帯平均と全世帯の年齢階級別、全世帯の所得階級別および勤労者世帯の所得階級別について、自由時間関連支出項目およびその内訳項目それぞれの1980年から1994年の平均年成長率を考察しよう。

(a) 全世帯平均と全世帯の年齢階級別について

全世帯平均の自由時間関連支出合計の平均年成長率(1.07%)は、消費支出のその率(0.71%)を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、一般外食(1.18%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧(4.64%)およびその他の教養娯楽用品(2.44%)、スポーツ項目(3.62%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品(2.34%)、スポーツ用具(1.46%)およびスポーツ観覧・ゲーム代(8.12%)、旅行項目(3.33%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費(3.47%)および交通費(3.11%)、旅行かばん(1.98%)、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等(9.52%)であった。

全世帯の24歳以下の自由時間関連支出合計の平均年成長率(-0.80%)は、消費支出のその率(-0.43%)を超えた負の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率が負の数値であるにもかかわらず、大きな正の平均年成長率の項目および内訳項目は、耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品(9.45%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧(3.76%)およびその他の教養娯楽用品(1.31%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品(2.48%)およびスポーツ観覧・ゲーム代(9.15%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費(2.70%)であった。

全世帯の25~29歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率(0.81%)は、消費支出のその率(0.37%)を超えた正の1以下の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率が1を大きく超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品(5.37%)、教養娯楽の内訳項目

の聴視・観覧(4.62%)、月謝類(3.51%)およびその他の教養娯楽用品(2.10%)、スポーツ項目(3.71%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用具(3.20%)およびスポーツ観覧・ゲーム代(8.79%)、旅行項目(3.55%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費(3.36%)および交通費(3.76%)であった。

全世帯の30~34歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率(1.47%)は、消費支出のその率(0.80%)を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、耐久財の内訳項目のラジオ・テレビ等(3.60%)およびカメラ・同付属品(6.04%)、教養娯楽項目(2.62%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧(5.99%)、月謝類(4.02%)およびその他の教養娯楽用品(2.58%)、スポーツ項目(5.69%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品(4.82%)、スポーツ用具(5.05%)およびスポーツ観覧・ゲーム代(8.49%)、旅行項目(5.86%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費(7.21%)および交通費(4.06%)、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等(2.09%)であった。

全世帯の35~39歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率(0.98%)は、消費支出のその率(0.43%)を超えた1以下の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率が1を大きく超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品(2.87%)およびピアノ・他の楽器(3.03%)、教養娯楽項目(1.78%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧(6.16%)、月謝類(1.86%)およびその他の教養娯楽用品(1.55%)、スポーツ項目(4.78%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品(4.51%)、スポーツ用具(2.50%)およびスポーツ観覧・ゲーム代(8.24%)、旅行項目(2.99%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費(2.74%)および交通費(3.47%)、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等(1.37%)であった。

全世帯の40~44歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率(1.36%)は、消費支出のその率(0.85%)を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに教養娯楽項目(2.33%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧(5.10%)、月謝類(2.51%)およびその他の教養娯楽用品(3.04%)、スポーツ項目(3.03%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品(3.12%)およびスポーツ観覧・ゲーム

代 (4.98%)、旅行項目 (2.42%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (2.18%) および交通費 (2.90%) であった。

全世帯の45～49歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率 (1.14%) は、消費支出のその率 (0.75%) を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目 (1.52%)、耐久財項目 (1.76%)、耐久財の内訳項目のラジオ・テレビ等 (2.39%)、教養娯楽項目 (1.87%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (3.92%)、月謝類 (1.41%) およびその他の教養娯楽用品 (3.36%)、スポーツ項目 (2.84%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (2.01%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (6.88%)、旅行項目 (1.65%)、旅行の内訳項目の交通費 (2.69%) であった。

全世帯の50～54歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率 (0.69%) は、消費支出のその率 (0.58%) を超えた正の1以下の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率が1を大きく超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目 (1.51%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (4.03%) およびその他の教養娯楽用品 (1.94%)、スポーツ項目 (4.41%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (2.34%)、スポーツ用具 (2.97%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (7.81%)、旅行項目 (1.91%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (1.48%)、交通費 (2.70%) および旅行かばん (3.58%) であった。

全世帯の55～59歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率 (1.73%) は、消費支出のその率 (0.88%) を大きく超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目 (1.92%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (4.67%) およびその他の教養娯楽用品 (1.87%)、スポーツ項目 (7.72%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (3.29%)、スポーツ用具 (5.43%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (14.05%)、旅行項目 (2.65%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (2.51%)、交通費 (2.88%) および旅行かばん (4.96%)、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等 (2.99%) であった。また、この年齢階級はその他の内訳項目のこづかい (1.30%) が、正の1以上の数値であ

ることに注目したい。

全世帯の60～64歳の自由時間関連支出合計の平均年成長率（2.51％）は、消費支出のその率（1.27％）を大きく超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品（6.50％）およびピアノ・他の楽器（4.28％）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（5.27％）、スポーツ項目（6.44％）、スポーツの内訳項目のスポーツ用品（4.86％）、スポーツ用具（3.02％）およびスポーツ観覧・ゲーム代（9.61％）、旅行項目（5.22％）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（6.21％）および交通費（3.26％）、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等（2.65％）であった。また、この年齢階級はその他の内訳項目のこづかい（1.09％）が、正の1以上の数値であることに注目したい。

全世帯の65歳以上の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.73％）は、消費支出のその率（0.56％）を大きく超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに教養娯楽項目（1.84％）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（3.81％）およびその他の教養娯楽用品（2.23％）、スポーツ項目（4.84％）、スポーツの内訳項目のスポーツ用具（2.49％）およびスポーツ観覧・ゲーム代（9.56％）、旅行項目（2.46％）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（2.65％）、交通費（1.96％）および旅行かばん（3.64％）であった。また、この年齢階級は、55～59歳および60～64歳の年齢階級と同様、その他の内訳項目のこづかい（1.57％）が、正の1以上の数値であることに注目したい。

(b) 全世帯の所得階級別について

全世帯の第I所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.07％）は、消費支出のその率（0.53％）を大きく超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品（2.55％）、教養娯楽項目（1.75％）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（3.51％）およびその他の教養娯楽用品（2.50％）、スポーツ項目（1.60％）、スポーツの内訳項目のスポーツ観覧・ゲーム代（6.67％）、旅行項目（3.40％）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック

旅行費（4.33%）および交通費（2.14%）、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等（2.72%）であった。

全世帯の第II所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.28%）は、消費支出のその率（0.62%）を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品（2.42%）、教養娯楽項目（1.95%）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（4.54%）、月謝類（1.40%）およびその他の教養娯楽用品（2.801%）、スポーツ項目（3.29%）、スポーツの内訳項目のスポーツ用品（1.97%）、スポーツ用具（1.32%）およびスポーツ観覧・ゲーム代（9.57%）、旅行項目（4.14%）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（4.91%）、交通費（2.97%）および旅行かばん（3.31%）、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等（2.02%）であった。

全世帯の第III所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（0.97%）は、消費支出のその率（0.68%）を超えた正の1以下の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率が1を超えている項目および内訳項目は、とくに教養娯楽項目（1.88%）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（4.68%）、月謝類（2.14%）およびその他の教養娯楽用品（2.31%）、スポーツ項目（3.71%）、スポーツの内訳項目のスポーツ用品（3.17%）およびスポーツ観覧・ゲーム代（7.71%）、旅行項目（3.07%）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（3.19%）および交通費（2.97%）、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等（1.38%）であった。

全世帯の第IV所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.26%）は、消費支出のその率（0.91%）を大きく超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目（1.51%）、教養娯楽項目（1.85%）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（5.14%）およびその他の教養娯楽用品（2.95%）、スポーツ項目（4.24%）、スポーツの内訳項目のスポーツ用品（3.20%）、スポーツ用具（3.05%）およびスポーツ観覧・ゲーム代（8.23%）、旅行項目（3.15%）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（2.99%）、交通費（3.46%）および旅行かばん（2.10%）であった。

全世帯の第Ⅴ所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.02％）は、消費支出のその率（0.72％）を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目（1.57％）、教養娯楽項目（1.22％）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（4.91％）およびその他の教養娯楽用品（1.93％）、スポーツ項目（3.82％）、スポーツの内訳項目のスポーツ観覧・ゲーム代（8.07％）、旅行項目（3.23％）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（3.17％）、交通費（3.40％）および旅行かばん（2.74％）であった。

（c）勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別とについて

勤労者世帯平均の自由時間関連支出合計の平均年成長率は（1.11％）、消費支出のその率（0.88％）を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目（1.46％）、耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品（1.75％）、教養娯楽項目（1.92％）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（5.01％）、月謝類（1.88％）およびその他の教養娯楽用品（2.49％）、スポーツ項目（3.96％）、スポーツの内訳項目のスポーツ用品（3.13％）、スポーツ用具（2.02％）およびスポーツ観覧・ゲーム代（7.96％）、旅行項目（3.34％）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（3.37％）、交通費（3.31％）および旅行かばん（1.98％）であった。

勤労者世帯の第Ⅰ所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.25％）は、消費支出のその率（0.76％）を超えた正の1以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品（6.38％）、教養娯楽項目（2.30％）、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧（4.33％）、月謝類（2.47％）およびその他の教養娯楽用品（3.37％）、スポーツ項目（3.47％）、スポーツの内訳項目のスポーツ用品（3.34％）およびスポーツ観覧・ゲーム代（8.44％）、旅行項目（3.24％）、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費（4.08％）および交通費（2.26％）、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等（1.86％）であった。

勤労者世帯の第Ⅱ所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率（1.48

%) は、消費支出のその率 (0.78%) を大きく超えた正の 1 以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに耐久財項目 (1.56%)、耐久財の内訳項目のラジオ・テレビ等 (1.81%) およびカメラ・同付属品 (3.99%)、教養娯楽項目 (2.48%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (5.42%)、月謝類 (2.95%) およびその他の教養娯楽用品 (3.11%)、スポーツ項目 (4.20%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (3.75%)、スポーツ用具 (3.48%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (6.86%)、旅行項目 (3.35%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (3.32%)、交通費 (3.39%) および旅行かばん (3.34%)、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等 (2.26%) であった。

勤労者世帯の第Ⅲ所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率 (1.05%) は、消費支出のその率 (0.92%) を超えた正の 1 以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目 (1.55%)、耐久財の内訳項目のカメラ・同付属品 (1.99%)、教養娯楽項目 (2.11%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (4.93%)、月謝類 (2.60%) およびその他の教養娯楽用品 (2.55%)、スポーツ項目 (3.78%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (3.38%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (8.37%)、旅行項目 (3.61%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (3.62%) および交通費 (3.68%)、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等 (1.20%) であった。

勤労者世帯の第Ⅳ所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率 (1.29%) は、消費支出のその率 (1.06%) を超えた正の 1 以上の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目 (1.59%)、教養娯楽項目 (2.02%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (5.03%)、月謝類 (1.31%) およびその他の教養娯楽用品 (3.40%)、スポーツ項目 (4.32%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (3.26%)、スポーツ用具 (3.37%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (8.13%)、旅行項目 (3.15%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (2.93%)、交通費 (3.47%) および旅行かばん (3.43%) であった。

勤労者世帯の第Ⅴ所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率 (0.84

%) は、消費支出のその率 (0.84%) と同じ正の 1 以下の数値であった。自由時間関連支出合計の平均年成長率が 1 を超えている項目および内訳項目は、とくに一般外食項目 (1.67%)、教養娯楽項目 (1.55%)、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧 (5.18%)、月謝類 (1.04%) およびその他の教養娯楽用品 (2.23%)、スポーツ項目 (3.85%)、スポーツの内訳項目のスポーツ用品 (2.27%)、スポーツ用具 (1.81%) およびスポーツ観覧・ゲーム代 (7.96%)、旅行項目 (3.34%)、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費 (3.35%)、交通費 (3.34%) および旅行かばん (2.97%) であった。

つぎに、表 4-2(a)~(c)の全世帯平均と全世帯の年齢階級別、全世帯の所得階級別および勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別について、自由時間関連支出合計を構成している 6 大項目 (一般外食, 耐久財, 教養娯楽, スポーツ, 旅行およびその他の各項目) の寄与度を考察しよう。

(a) 全世帯平均と全世帯の年齢階級別とについて、寄与度の考察をおこなう。

全世帯平均の1981年の寄与度合計 (1981年の自由時間関連支出合計の成長率に等しい。以下の寄与度合計についても同断) は、負の 1 以上の数値 (-1.55%) であり、とくにその他項目 (-1.20%) が負の成長率に寄与しているが、スポーツ (0.08%) および旅行 (0.24%) の両項目がこの負の成長率をわずかながら引き下げる可能性を秘めている。1988年の寄与度合計 (6.34%) は非常に大きな正の数値であり、とくに旅行 (1.59%) およびその他 (2.49%) の両項目がこの成長率に寄与していることを示している。1994年の寄与度合計 (-4.98%) は、非常に大きな負の数値であり、とくに教養娯楽 (-3.11%) およびその他 (-1.12%) の両項目が負の成長率に寄与している。

全世帯の24歳以下の1981年の寄与度合計 (-14.97%) は、極めて大きな負の数値であり、とくに耐久財 (-8.35%)、旅行 (-1.86%) およびその他 (-5.28%) の各項目が負の成長率を高めているが、教養娯楽 (0.28%) およびスポーツ (0.44%) の両項目がこの負の成長率をわずかながら引き下げる可能性を秘めている。1988年の寄与度合計 (9.60%) は非常に大きな正の数値であり、とくに教養娯楽 (2.33%)、旅行 (5.62%) およびその他 (5.55%) の各項目がこの成長率に寄与していることを示している。しかし、耐久財 (-3.60%) およびスポーツ (-1.22%) の両項目はこの成長率を引き下げる可

能性を秘めている。1994年の寄与度合計（-3.59%）は、大きな負の数値であり、とくに一般外食（-2.85%）、教養娯楽（-1.25%）およびスポーツ（-1.41%）の各項目が負の成長率に寄与しているが、旅行項目（1.88%）がこの成長率を引き下げる可能性を秘めている。

全世帯の25～29歳の1981年の寄与度合計（4.16%）は、大きな正の数値であり、とくに教養娯楽（1.51%）およびその他（2.12%）の両項目がこの成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（3.04%）は、大きな正の数値であり、とくに旅行（1.76%）およびその他（2.76%）の両項目がこの成長率に寄与している。しかし、一般外食項目（-1.28%）がこの成長率を引き下げる可能性を秘めている。1994年の寄与度合計（-4.43%）は、大きな負の数値であり、とくに一般外食（-1.14%）、教養娯楽（-1.08%）、スポーツ（1.03%）およびその他（-1.09%）の各項目が負の成長率に寄与している。

全世帯の30～34歳の1981年の寄与度合計（-0.56%）は、小さな負の数値で、とくに耐久財（-0.66%）、教養娯楽（-0.33%）およびその他（-0.27%）の各項目がこの負の成長率に若干の寄与を示している。1988年の寄与度合計（5.02%）は、大きな正の数値であり、とくに教養娯楽（1.49%）およびその他（2.42%）の両項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（4.17%）は、大きな正の数値であり、とくに教養娯楽（1.21%）および旅行（3.06%）の両項目がこの成長率に寄与している。

全世帯の35～39歳の1981年の寄与度合計（-2.41%）は、負の大きな数値で、とくにその他項目（-2.68%）がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（9.38%）は、非常に大きな正の数値で、とくに一般外食（1.11%）、教養娯楽（1.50%）、旅行（1.86%）およびその他（4.29%）の各項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-3.10%）は、大きな負の数値で、とくに旅行項目（-1.31%）がこの負の成長率に寄与している。

全世帯の40～44歳の1981年の寄与度合計（1.31%）は、1をわずかに超えた正の数値で、耐久財（-0.22%）および旅行（-0.39%）の両項目の小さい負の寄与度を除くと、それ以外の各項目が小さな正の数値であった。1988年の寄与度合計（8.41%）は、大きな正の数値であり、とくに一般外食（1.54%）、耐久財（1.57%）、教養娯楽（2.26%）およびその他（1.71%）の各項目

目がこの成長率に大きく寄与している。1994年の寄与度合計（0.05%）は、非常に小さな正の数値を示し、各項目とも小さな正および負の寄与度で、この成長率にあまり寄与していない。

全世帯の45～49歳の1981年の寄与度合計（-0.91%）は、負の1をわずかに下回る数値であるが、とくにその他項目（-1.86%）がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（11.61%）は、非常に大きな正の数値であり、とくに一般外食（1.45%）、旅行（1.25%）およびその他（8.02%）の各項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-5.13%）は、かなり大きな負の数値であり、とくに旅行（-1.30%）およびその他（-3.78%）の両項目がこの負の成長率に寄与している。

全世帯の50～54歳の1981年の寄与度合計（-3.87%）は、大きな負の数値で、とくに一般外食（-1.33%）およびその他（-1.55%）の両項目がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（8.18%）は、非常に大きな正の数値であり、とくに耐久財（1.21%）、旅行（2.30%）およびその他（3.19%）の各項目がこの成長率に大きく寄与している。1994年の寄与度合計（-5.82%）は、かなり大きな負の数値であり、とくに旅行（-1.46%）およびその他（-2.25%）の両項目がこの負の成長率に寄与している。

全世帯の55～59歳の1981年の寄与度合計（1.19%）は、1をわずかに超えた正の数値で、とくにその他項目（3.64%）がこの成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（-0.27%）は、負の1以下の小さな数値で、とくにその他項目（-1.38%）がこの負の成長率に寄与している。また、とくに旅行項目の寄与度（1.66%）は正の1以上の数値で、負の成長率の引き下げに大きく寄与している。1994年の寄与度合計（-0.34%）は、負の1以下の小さな数値で、とくに教養娯楽項目（-1.07%）がこの負の成長率を高めている反面、とくに旅行項目（1.29%）が負の成長率の引き下げに寄与する可能性を秘めている。

全世帯の60～64歳の1981年の寄与度合計（-3.30%）は、負の大きな数値で、とくにその他項目（-6.30%）がこの負の成長率に寄与している反面、とくに旅行項目（2.75%）が負の成長率の引き下げに寄与する可能性を秘めている。1988年の寄与度合計（8.97%）は、正の非常に大きな数値で、とく

に教養娯楽 (1.38%)、旅行 (3.96%) およびその他 (1.86%) の各項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計 (0.92%) は、正の1をわずかに下回る数値で、とくに一般外食 (1.40%) および旅行 (1.28%) の両項目がこの成長率に寄与している。

全世帯の65歳以上の1981年の寄与度合計 (-4.24%) は、負の大きな数値で、とくに一般外食 (-1.12%)、教養娯楽 (-1.01%) およびその他 (-2.75%) の各項目がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計 (-4.32%) は、負の大きな数値で、とくに教養娯楽 (-1.14%) およびその他 (-1.83%) の両項目がこの負の成長率に寄与している。1994年の寄与度合計 (0.82%) は、正の1をわずかに下回る数値で、負の小さな寄与度のその他項目 (-0.59%) を除けば、それ以外の各項目の寄与度が小さな正の数値であった。

(b) 全世帯の所得階級別とについて、寄与度の考察をおこなう。

全世帯の第I所得階級の1981年の寄与度合計 (-5.18%) は、負の大きな数値で、とくに一般外食 (-2.97%) およびその他 (-1.96%) の両項目がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計 (6.14%) は正のかなり大きな数値で、とくに一般外食 (1.75%)、旅行 (1.22%) およびその他 (2.38%) の各項目がこの正の成長率に大きく寄与している。1994年の寄与度合計 (-2.77%) は、負の大きな数値で、とくに教養娯楽 (-1.90%) および旅行 (-1.32) の両項目がこの負の成長率に寄与しているものの、その他項目 (1.08%) がこの負の成長率の引き下げに寄与していることを示している。

全世帯の第II所得階級の1981年の寄与度合計 (0.33%) は、正の小さな数値で、とくに旅行項目 (1.34%) が正の成長率に寄与しているものの、一般外食 (-0.13%)、耐久財 (-0.47%) およびその他 (-0.55%) の各項目が一緒になってこの正の成長率を引き下げている。1988年の寄与度合計 (5.84%) は正のかなり大きな数値で、とくに教養娯楽 (1.16%)、旅行 (1.60%) およびその他 (2.01%) の各項目がこの正の成長率に大きく寄与している。1994年の寄与度合計 (1.48%) は、正の1以上の数値で、とくに旅行項目 (1.98%) がこの成長率に大きく寄与しているが、その他項目 (-1.08%) がこの成長率を引き下げている。

全世帯の第Ⅲ所得階級の1981年の寄与度合計（-1.19%）は、負の1以上の数値で、とくにその他項目（-1.91%）がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（7.96%）は正のかなり大きな数値で、とくに教養娯楽（1.79%）、旅行（3.30%）およびその他（2.32%）の各項目がこの成長率に大きく寄与している。1994年の寄与度合計（-4.49%）は、かなり大きな負の数値で、一般外食項目（0.13%）を除くすべての項目が負の数値であり、とくにその他項目（-2.88%）がこの負の成長率に寄与している。

全世帯の第Ⅳ所得階級の1981年の寄与度合計（0.24%）は、正の小さな数値で、一般外食（0.22%）、耐久財（0.07%）およびスポーツ（0.35%）の各項目が小さな正の数値、教養娯楽（-0.17%）、旅行（-0.09%）およびその他（-0.14%）の各項目がより小さな負の数値となっていて、どの項目もこの成長率に寄与していない。1988年の寄与度合計（4.65%）は正の大きな数値で、とくにその他項目（1.72%）がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-2.27%）は、大きな負の数値で、一般外食（-0.38%）、スポーツ（-0.46%）、旅行（-0.82%）およびその他（-0.92%）の各項目の小さな負の数値が一緒になり、この負の成長率に寄与している。

全世帯の第Ⅴ所得階級の1981年の寄与度合計（-2.83%）は、負の大きな数値で、すべての項目が負の数値となっていて、その中でもその他項目（-1.65%）がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（7.08%）は、正のかなり大きな数値で、とくに旅行（1.39%）およびその他（3.41%）の両項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-1.43%）は、負の1以上の数値で、一般外食（-0.36%）、耐久財（-0.09%）、スポーツ（-0.63%）およびその他（-0.89%）の各項目が一緒になり、この負の成長率に寄与している。

（c）勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別とについて、寄与度の考察をおこなう。

勤労者世帯平均の1981年の寄与度合計（0.03%）は、正の非常に小さな数値であり、どの項目もこの成長率にあまり寄与していない。1988年の寄与度合計（6.50%）は、正のかなり大きな数値で、とくに旅行（1.12%）およびその他（2.78%）の両項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合

計（-1.94%）は、負の1以上の数値で、とくにその他項目（-1.50%）がこの負の成長率に寄与している。

勤労者世帯の第I所得階級の1981年の寄与度合計（-1.80%）は、負の1以上の数値で、とくにその他項目（-1.17%）がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（8.37%）は、かなり大きな正の数値で、とくに一般外食（1.95%）、教養娯楽（1.11%）、旅行（1.85%）およびその他（2.76%）の各項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-0.86%）は、負の1以上の数値で、とくにその他項目（-1.38%）がこの負の成長率に寄与している反面、旅行項目（1.08%）が負の成長率の引き下げに寄与している。

勤労者世帯の第II所得階級の1981年の寄与度合計（3.71%）は、正のかなり大きな数値で、とくにその他項目（1.19%）がこの成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（7.77%）は、かなり大きな正の数値で、とくに耐久財（1.17%）、教養娯楽（1.88%）、旅行（1.36%）およびその他（2.42%）の各項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-2.38%）は、負のかなり大きな数値で、とくにその他項目（-2.86%）がこの負の成長率に寄与している。

勤労者世帯の第III所得階級の1981年の寄与度合計（-1.51%）は、負の1以上の数値で、とくに耐久財（-1.24%）およびその他（-2.29%）の両項目がこの負の成長率を高めているものの、旅行項目（1.27%）がこの負の成長率の引き下げに寄与している。1988年の寄与度合計（4.23%）は、正のかなり大きな数値で、とくにその他項目（1.79%）がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-6.08%）は、負のかなり大きな数値で、とくに耐久財（-1.47%）およびその他（-3.68%）の両項目がこの負の成長率に寄与している。

勤労者世帯の第IV所得階級の1981年の寄与度合計（3.99%）は、正の大きな数値で、とくにその他項目（1.63%）がこの成長率に寄与している。1988年の寄与度合計は、正のかなり大きな数値（6.84%）で、とくに教養娯楽（1.02%）およびその他（3.44%）の両項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（0.13%）は、正の小さな数値で、正および負を示した各項目

の寄与度の数値は小さく、どの項目もこの成長率にあまり寄与していない。

勤労者世帯の第Ⅴ所得階級の1981年の寄与度合計（-2.47%）は、負のかなり大きな数値で、とくにその他項目（-2.47%）がこの負の成長率に寄与している。1988年の寄与度合計（5.04%）は、正のかなり大きな数値で、とくに旅行（1.24%）およびその他（1.79%）の両項目がこの成長率に寄与している。1994年の寄与度合計（-0.96%）は、負の1以下の数値で、正および負を示した各項目の寄与度の数値は小さく、どの項目もこの負の成長率に大きく寄与していない。

6. 結論

本節では、5章で考察したことを結論づければ、以下のようなになる。

(1)全世帯平均と全世帯の年齢階級別について、平均年成長率の結論づけをおこなう。

全世帯平均および各年齢階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の内訳項目は、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧およびその他の教養娯楽用品、スポーツの内訳項目のスポーツ観覧・ゲーム代、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費である。24歳以下、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳および60～64歳の年齢階級で、自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の内訳項目は、カメラ・同付属品であった。25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳および45～49歳の年齢階級で、その共通の内訳項目は、教養娯楽の内訳項目の月謝類であった。50～54歳および55～59歳の年齢階級で、その共通の項目は、一般外食項目であった。60～64歳および65歳以上の年齢階級で、その共通の内訳項目は、その他の内訳項目のこづかいであった。

このように、全世帯平均を含めたすべての年齢階級に共通の項目もあるが、やはり各年齢階級の項目および内訳項目によって、平均年成長率の伸びが異なっている。一般的に言われているのと同様に、すべての年齢階級で所得の増加があった場合、聴視・観覧およびその他の教養娯楽用品、スポーツ観覧・ゲーム代、宿泊料・パック旅行費への支出も増加する傾向にある。とくに、

低年齢階級ほど低所得であるため、支出される項目が限られている。中年齢階級は、子供の教育費のために月謝類への支出が増加傾向にある。高年齢階級は、子供および孫への支援のために、こづかい項目の伸びが大きい。

(2) 全世帯の所得階級別について、平均年成長率の結論づけをおこなう。

すべての所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の項目および内訳項目は、教養娯楽項目、スポーツ項目、スポーツの内訳項目であるスポーツ観覧・ゲーム代、旅行項目、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費および交通費である。第Ⅰ、ⅡおよびⅢ所得階級で、自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の内訳項目は、諸会費・つきあい費等であった。第ⅣおよびⅤ所得階級で、自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の内訳項目は、一般外食項目である。

このように、すべての全世帯の所得階級に共通の項目および内訳項目もあるが、各所得階級の項目および内訳項目によって、平均年成長率の伸びが異なっている。すなわち、低所得階級ほど諸会費・つきあい費等への支出がなされているが、高所得階級ほど一般外食項目への支出がなされている。

(3) 勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別について、平均年成長率の結論づけをおこなう。

勤労者世帯平均および各所得階級の自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の項目および内訳項目は、教養娯楽項目、教養娯楽の内訳項目の聴視・観覧、月謝類およびその他の教養娯楽用品、スポーツの内訳項目のスポーツ用具およびスポーツ観覧・ゲーム代、旅行項目、旅行の内訳項目の宿泊料・パック旅行費である。勤労者平均、第Ⅲ、ⅣおよびⅤ所得階級で、自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の項目は、一般外食項目であった。第Ⅰ、ⅡおよびⅢ所得階級で、自由時間関連支出合計の平均年成長率が消費支出のその率を超えている共通の内訳項目は、その他の内訳項目の諸会費・つきあい費等であった。

このように、すべての勤労者世帯の所得階級に共通の項目および内訳項目もあるが、とくに低所得階級ほど諸会費・つきあい費等への支出がなされて

いるが、高所得階級ほど一般外食項目への支出がなされている。この傾向は全世帯の所得階級と同様であった。

(4)全世帯平均と全世帯の年齢階級別とについて、寄与度の結論づけをおこなう。

第2次石油危機を乗り越え、外需によって経済成長していく時期の1981年の寄与度合計(1981年の自由時間関連支出合計の成長率に等しい)は、25～29歳および40～44歳を除けば、全世帯平均およびすべての年齢階級で負の数値を示している。これらの年齢階級で負の寄与度合計を高めている共通項目はその他項目であり、逆に負の寄与度をわずかでも引き下げる可能性のある項目は教養娯楽項目か、スポーツ項目か、旅行項目のいずれかである。もちろん、負の寄与度合計を引き下げる可能性は年齢階級によって、項目に差があるということは言うまでもない。25～29歳および40～44歳の寄与度合計は、正の値であるが、これはとくに教養娯楽項目およびその他項目がこの成長率に寄与していることを示している。

内需主導型経済成長期で、バブル経済の絶頂期の1988年の寄与度合計は、55～59歳および65歳以上を除く、全世帯平均およびすべての年齢階級で正の数値を示している。正の寄与度を高めている共通項目は、その他項目であった。正の寄与度合計に寄与している共通項目は、低年齢階級ほど教養娯楽および旅行の両項目であった。中年齢階級および高年齢階級において正の寄与度合計に寄与している共通項目は、一般外食、教養娯楽および旅行の各項目であった。また、55～59歳および65歳以上の年齢階級は、負の寄与度合計であり、前者においてその他項目、後者において教養娯楽およびその他の両項目がこの負の成長率を高めている。

バブル経済崩壊で、経済調整が必要となった時期の1994年の寄与度合計は、30～34歳、40～44歳、60～64歳および65歳以上を除く、全世帯平均およびすべての年齢階級で負の数値を示している。低年齢階級ほど一般外食、教養娯楽およびスポーツの各項目、中年齢階級は旅行およびその他の両項目、高年齢階級は教養娯楽項目それぞれがこの負の成長率を高めていることを示している。また、この時期の正の寄与度合計を示した30～34歳、40～44歳、60～64歳および65歳以上の各年齢階級は、ともに小さな正の寄与度合計であり、ど

の項目もあまりこの成長率に寄与していないことを示している。

(5) 全世帯の所得階級別について、寄与度の結論づけをおこなう。

第2次石油危機を乗り越え、外需によって経済成長していく時期の1981年の寄与度合計（1981年の自由時間関連支出合計の成長率に等しい）は、第IIおよびIV所得階級を除く、各所得階級は負の数値であった。第I所得階級では、一般外食およびその他の両項目がこの成長率を引き下げている。第III所得階級では、その他項目がこの成長率を引き下げている。第V所得階級では、すべての項目が負の寄与度を示しており、各項目のなかでその他項目がこの負の成長率に寄与している。第II所得階級の寄与度合計は正の数値で、旅行項目がこの正の成長率に寄与している。第IV所得階級の寄与度合計は正の数値であったが、どの項目も小さな正および負の寄与度で、この正の成長率にほとんど寄与していないことを示している。

内需主導型経済成長期で、バブル経済の絶頂期の1988年の寄与度合計は、すべての所得階級で正の数値であり、第IV所得階級を除けば、旅行およびその他の両項目がこれらの階級の成長率に寄与している。また、第IIおよびIII所得階級は、旅行およびその他両項目に加え、教養娯楽項目がこれらの階級の成長率に寄与している。

バブル経済崩壊で、経済調整が必要となった時期の1994年の寄与度合計は、第II所得階級を除く、すべての所得階級で負の数値であった。第I所得階級は、教養娯楽および旅行がこの負の成長率に寄与している。第III所得階級は、とくにその他項目が負の成長率に寄与している。第IV所得階級は、すべての項目が負の成長率に寄与している。第V所得階級は、一般外食、耐久財、スポーツおよびその他の各項目がこの負の成長率に寄与している。

(6) 勤労者世帯平均と勤労者世帯の所得階級別とについて、寄与度の結論づけをおこなう。

第2次石油危機を乗り越え、外需によって経済成長していく時期の1981年の寄与度合計は、勤労者世帯平均、第IIおよびIV所得階級において、正の数値であった。勤労者世帯平均および第IV所得階級は、正の小さな値でどの項目もこれらの成長率にあまり寄与していないが、第II所得階級では、その他の各項目がこの階級の成長率に寄与している。第I、IIIおよびV所得階級は負

の寄与度合計で、とくにその他項目がこれらの階級それぞれの負の成長率に寄与している。

内需主導型経済成長期で、バブル経済の絶頂期の1988年の寄与度合計は、勤労者世帯平均およびすべての所得階級において、正の大きな数値であった。勤労者世帯平均およびすべての階級の成長率に寄与する共通の項目はその他項目である。それに加えて、低所得階級ほど、一般外食、教養娯楽および旅行の各項目が成長率に寄与している。

バブル経済崩壊で、経済調整が必要となった時期の1994年の寄与度合計は、第ⅣおよびⅤ所得階級を除けば、すべての階級で大きな負の数値であった。これらの所得階級の負の成長率に寄与する共通の項目はその他項目である。第ⅣおよびⅤ所得階級は、ともに正の小さな寄与度合計で、各項目がそれぞれこれらの成長率にあまり寄与していないことを示した。しかしながら、この期においては、低所得階級ほど経済変動の影響を受けて負の成長率となったと考えられるが、高所得階級ほど経済変動の影響を受けているにもかかわらず正の成長率を呈している。

(参考文献)

- [1] 馬場康彦「若年世帯の生活構造の変化 耐久消費財の保有の「標準化」と「個別化」について」『季刊 家計経済研究』通巻第26号, 1995年4月.
- [2] 一番ヶ瀬康子・藺田碩哉・牧野暢男『余暇生活論』有斐閣, 1994年3月.
- [3] Houthakker, H. S. and Taylor, L. D., *Consumer Demand in the United States, 1929-1970*, Harvard University Press, 1966.
- [4] 経済企画庁編『平成7年版 国民生活白書——戦後50年の自分史——多様で豊かな生き方を求めて——』大蔵省印刷局, 1995年11月.
- [5] 溝口敏行『経済統計論』東洋経済新報者, 1989年6月.
- [6] 永山貞則・勝浦正樹「高所得者層の生活行動」『季刊 家計経済研究』通巻第14号, 1992年4月.
- [7] Noguchi, Y and Wise, A. D. et al., *Aging in the United States and Japan: Economic Trends*, the University of Chicago Press, 1994. (野口悠紀雄・デービッド ワイズ編『高齢化の日米比較』日本経済新聞社, 1995年1月.)
- [8] 総理府編『平成7年版 観光白書』大蔵省印刷局, 1995年6月.
- [9] 内山敏典「自由時間関連財需要の構成比に基づく分析」(謄写版印刷物) 1996年4月.